

令和2年度

事業報告書

社会福祉法人 善隣会

特別養護老人ホーム尚古園
サテライト特養尚古園
尚古園デイサービスセンター
サテライト尚古園デイサービスセンター
グループホーム山径
デイサービスセンター山径
尚古園指定居宅介護支援事業所

園訓

— より大切に

— より優しく

— より早く

目次

法人本部

1. 善隣会の概要	1
2. 令和元年度事業報告	8
3. 運営組織	11
4. 法人教育・研修体系	13
5. 組織図	14

特別養護老人ホーム尚古園

1. 利用者生活支援状況	15
2. 年間行事予定	18
3. 職員研修状況	19
4. 施設実習受け入れ状況	20
5. 在宅サービス受け入れ状況	20
6. ボランティア受け入れ状況	21
7. 食事と栄養	22
8. ひまわり会（利用者の会）活動状況	24
9. ご家族との連携	25
10. 利用者の状況	26

サテライト特養尚古園

1. 利用者生活支援状況	28
2. 年間行事	30
3. 職員研修状況	31
4. ボランティア受け入れ状況	31
5. 利用者の状況	32
6. 運営推進会議の開催	34

尚古園デイサービスセンター

1. 利用者生活支援状況	35
2. 会議開催状況	37
3. 職員研修状況	37
4. ボランティア受け入れ状況	38
5. 利用者の状況	38

サテライト尚古園デイサービスセンター

1. 利用者生活支援状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・40
2. 会議開催状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・41
3. 職員研修状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・42
4. ボランティア受け入れ状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・42
5. 利用者の状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・42

グループホーム山径

1. 利用者生活支援状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・44
2. 会議開催状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・45
3. 年間行事・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・45
4. 職員研修状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・46
5. 利用者の状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・46
6. 運営推進会議の開催・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・47

デイサービスセンター山径

1. 利用者生活支援状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・48
2. 会議開催状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・49
3. ボランティア受け入れ状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・49
4. 利用者の状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・49

尚古園指定居宅介護支援事業所

1. 重点目標・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・51
2. 給付管理状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・52
3. 職員研修等の状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・52

法人本部



1、善隣会の概要

- (1) 沿革
- | | |
|----------|--|
| 昭和49年9月 | 社会福祉法人設立認可申請 |
| 昭和50年6月 | 社会福祉法人善隣会 設立認可 |
| 昭和50年10月 | 特別養護老人ホーム尚古園新築工事着工 |
| 昭和51年6月 | 特別養護老人ホーム尚古園完成 事業開始 (50床)
日本自転車振興会助成、山梨県補助 |
| 昭和52年9月 | 特別養護老人ホーム尚古園新館増床要望書提出 |
| 昭和53年4月 | 特別養護老人ホーム尚古園新館増床認可 |
| 昭和53年11月 | 特別養護老人ホーム尚古園新館工事着工 |
| 昭和54年6月 | 特別養護老人ホーム尚古園新館竣工 (30床)
事業開始 (定員80名) 日本自転車振興会助成、山梨県補助 |
| 平成1年12月 | 特別養護老人ホーム尚古園スプリンクラー設置
日本自転車振興会助成、山梨県・甲府市補助 |
| 平成4年4月 | 尚古園本館給湯給水設備改修、車両財団助成金 甲府市補助金 |
| 平成12年3月 | 特別養護老人ホーム尚古園大規模修繕・拡張工事完成
(国保・山梨県・甲府市補助金) |
| 平成12年4月 | 介護保険事業者指定 事業開始
・介護老人福祉施設 (特別養護老人ホーム尚古園)
・短期入所生活介護 (特別養護老人ホーム尚古園)
・居宅介護支援事業 (尚古園指定居宅介護支援事業所) |
| 平成13年3月 | 尚古園デイサービスセンター・グループホーム山径
整備計画書提出 |
| 平成14年1月 | 尚古園デイサービスセンター・グループホーム山径
創設工事着工 |
| 平成14年8月 | 尚古園デイサービスセンター・グループホーム山径
創設工事竣工、国庫・山梨県補助金 |
| 平成14年11月 | 介護保険事業者指定 事業開始
・通所介護 (尚古園デイサービスセンター、定員15名)
・認知症対応型共同生活介護 (グループホーム山径、定員9名) |
| 平成15年4月 | 尚古園デイサービスセンター定員20名に変更 |
| 平成15年10月 | 尚古園デイサービスセンター定員25名に変更 |
| 平成16年3月 | 介護保険事業者指定 事業開始
・通所介護 (緑が丘デイサービスセンター、定員8名) |
| 平成16年11月 | 駐車場設置工事着工 |
| 平成17年1月 | 駐車場設置工事完成 |
| 平成17年2月 | 緑が丘デイサービスセンター定員10名に変更 |
| 平成17年11月 | 緑が丘デイサービスセンター拡張工事完成 |
| 平成17年12月 | 機械浴槽を設置 平成17年度年賀寄附配分金 |

- 平成 17 年 12 月 尚古園太陽光発電システム設置
新エネルギー財団・東京電力助成
- 平成 18 年 2 月 尚古園エレベーター改修、設置
- 平成 18 年 8 月 地域密着型サテライト特養尚古園選定
- 平成 18 年 10 月 特養尚古園ショート居室増床工事（8 床）
- 平成 18 年 12 月 ボイラー地上タンク設置、ボイラー改修工事
- 平成 18 年 12 月 地域密着型サテライト特養尚古園施設設備費、
甲府市助成金交付内定
- 平成 19 年 4 月 サテライト特養尚古園事業開始
- 平成 19 年 7 月 尚古園中央デイサービスセンター事業申請提出
- 平成 19 年 8 月 尚古園中央デイサービスセンター事業開始
サテライト特養尚古園短期入所生活介護申請（空床型）
- 平成 19 年 9 月 サテライト特養尚古園短期入所生活介護事業開始（空床型）
- 平成 20 年 7 月 特別養護老人ホーム尚古園建物・設備改修工事着工
財団法人車両競技公益資金記念財団補助事業
- 平成 20 年 8 月 尚古園中央デイサービスセンター競輪公益金補助事業により
福祉車両を整備
- 平成 20 年 11 月 サテライト特養尚古園土地・建物を自己保有資産とする
- 平成 21 年 4 月 デイサービス山径事業開始
- 平成 21 年 7 月 サテライト特養尚古園短期入所生活介護休止
- 平成 21 年 8 月 特別養護老人ホーム尚古園受水槽設置工事開始
- 平成 22 年 3 月 尚古園デイサービスセンター日本財団補助事業により福祉
車両を整備
- 平成 22 年 8 月 サテライト特養尚古園スプリンクラー設備費、
甲府市助成金交付決定
- 平成 22 年 9 月 特別養護老人ホーム尚古園浴室棟増築工事完成
- 平成 22 年 11 月 サテライト特養尚古園・尚古園中央デイサービスセンター
スプリンクラー設置工事完成
- 平成 23 年 9 月 サテライト特養尚古園 高圧電気設備の全面更新
- 平成 24 年 4 月 特別養護老人ホーム尚古園 居室廊下等全面改修工事（8 月終了）
照明器具省エネ改修工事（尚古園・尚古園デイ・グループホーム）
- 平成 24 年 9 月 尚古園ガス設備工事・業者変更
バルク及び旧配管撤去、新規ガスボンベ保管庫設置（厨房横）
- 平成 24 年 12 月 尚古園中央デイサービスセンター事業休止
- 平成 25 年 1 月 サテライト特養尚古園 併設型ショートステイ 6 床開設
- 平成 25 年 5 月 事業用敷地購入（甲府市緑が丘一丁目 158 番 面積 872.79 m²）
- 平成 25 年 8 月 尚古園中央デイサービスセンター事業廃止
- 平成 25 年 11 月 サテライト特養尚古園 併設型ショートステイ事業廃止
- 平成 25 年 12 月 特別養護老人ホーム尚古園 中央競馬馬主社会福祉財団補助事業に
より福祉車両を整備

平成 26 年 4 月	サテライト尚古園デイサービスセンター事業開始 (定員 10 名)
平成 26 年 10 月	尚古園空調設備改修
平成 27 年 3 月	サテライト尚古園デイサービスセンター日本財団補助事業により 福祉車両を整備
平成 27 年 7 月	サテライト特養尚古園エレベーター改修工事
平成 27 年 10 月	サテライト特養尚古園サッシ入替その他改修工事
平成 28 年 3 月	グループホーム山径エアコン改修工事
平成 28 年 7 月	尚古園短期入所生活介護事業定員変更 (定員 8 名→定員 10 名)
平成 28 年 10 月	サテライト特養尚古園多目的室設置工事
平成 29 年 4 月	尚古園、サテライト特養尚古園防犯設備設置工事
平成 29 年 11 月	尚古園居室区分変更工事
平成 29 年 12 月	サテライト特養尚古園ガス給湯器交換工事
平成 29 年 12 月	尚古園デイサービスセンター壁紙張り替え工事
平成 30 年 2 月	尚古園デイサービスセンター昇温配管更新工事
平成 30 年 2 月	尚古園電話設備更新工事
平成 30 年 2 月	尚古園移動式消火設備設置及び火災通報装置連動工事
平成 30 年 4 月	サテライト特養尚古園ガス給湯器交換工事
平成 30 年 5 月	サテライト特養尚古園 2 階、3 階手すり設置工事
平成 30 年 8 月	サテライト特養尚古園排水管改修工事
平成 30 年 10 月	尚古園玄関自動ドア電気錠設置工事
平成 30 年 12 月	尚古園機械浴入れ替え工事
平成 30 年 12 月	尚古園換気扇改修工事
平成 31 年 3 月	尚古園ガス給湯器取替工事
令和 1 年 9 月	緑が丘デイサービスセンター事業休止
令和 2 年 2 月	緑が丘デイサービスセンター事業廃止
令和 3 年 1 月	尚古園プレハブ面会室設置 (新型コロナウイルス感染対策用)

(2) 規 模 敷 地 面 積

甲府市和田町 2948 - 6 外 (一部借地)	7,569.98 m ²
甲府市緑が丘 1 丁目 158 番 2, 4, 11, 13	872.79 m ²
甲府市中央 1 丁目 446 番地	505.11 m ²

延 床 面 積

特別養護老人ホーム尚古園	3,056.31 m ²
尚古園デイサービスセンター	389.85 m ²
グループホーム山径	473.91 m ²
サテライト特養尚古園	923.62 m ²
サテライト尚古園デイサービスセンター	220.20 m ²

(3) 法人の概要

法人本部・事業所の所在地	本部・主たる事業所	山梨県甲府市和田町2948番地の6			
	サテライト特養 サテ・デイサービス他	山梨県甲府市中央1丁目16番地2			
代表者名	廣瀬 朱實	法人認可年月日	昭和50年6月24日	法人登記年月日	昭和50年7月9日

(4) 法人の実施事業

事業の種類		施設・事業種別	名称	施設長名 事業所長名	定員
社会福祉事業	第一種社会福祉事業	介護老人福祉施設	特別養護老人ホーム尚古園	西山高美	80名
		介護老人福祉施設	サテライト特養尚古園	小川ひろみ	20名
	第二種社会福祉事業	短期入所生活介護事業 (介護予防含)	特別養護老人ホーム尚古園	西山高美	10名
		短期入所生活介護事業	サテライト特養尚古園 短期入所生活介護事業所	小川ひろみ	(空床型)
		通所介護事業 (介護予防・総合事業含)	尚古園デイサービスセンター	清水 努	25名
		通所介護事業 (介護予防・総合事業含)	サテライト尚古園デイサービスセンター	小川ひろみ	10名
		認知症対応型 共同生活介護事業	グループホーム山径	堤 輝美	9名
	認知症対応型 通所介護事業	デイサービスセンター山径	堤 輝美	3名	
公益事業	居宅介護支援事業	尚古園指定居宅介護支援事業所	中村晃紹	—	

(5) 役員（理事定数6名、監事定数2名、評議員7名）

役 職	氏 名	職 業 ・ 所 属 等	備 考
理 事 長	廣 瀬 朱 實	常勤理事	
理 事	西 山 高 美	常勤理事	特別養護老人ホーム尚古園施設長
理 事	饗 場 紀 典	会社役員	
理 事	藤 谷 真 之	佛念寺住職	
理 事	土 屋 直	無職	
理 事	廣 瀬 伸 次	医療法人 理事長	

役 職	氏 名	職 業 ・ 所 属 等	備 考
監 事	中 込 正 巳	中込経理事務所所長	
監 事	宮 田 洋 美	和田町民生委員 市立小学校講師	

役 職	氏 名	職 業 ・ 所 属 等	備 考
評 議 員	木 村 正 和	大学講師	
評 議 員	伊 藤 洽 子	会社役員	
評 議 員	上 原 雅 志	私立高等学校講師	
評 議 員	土 屋 紘 一	無職	
評 議 員	塚 田 正 郎	不動産業	
評 議 員	志 村 眞 佐 子	無職	
評 議 員	石 原 正 文	病院勤務	

(6)理事会・評議員会開催状況

(理事会)

開催年月日	出席者数	議 決 事 項
令和2年5月27日	理事 5名 監事 2名	<ul style="list-style-type: none"> ・ 令和元年度 事業報告について ・ 令和元年度決算について ・ 令和元年度 監査報告について ・ 定時評議員会の招集について ・ 定時評議員会の提出議案について
令和2年10月29日	理事 6名 監事 2名	<ul style="list-style-type: none"> ・ 令和2年度補正予算について ・ 就業規則、育児・介護休業規則の一部改正について ・ ハラスメント防止規則の設置について
令和3年3月23日	理事 6名 監事 2名	<ul style="list-style-type: none"> ・ 令和2年度補正予算について ・ 令和3年度事業計画について ・ 令和3年度予算について ・ 役員等報酬規程の改正について ・ 臨時評議員会の招集について ・ 臨時評議員会の提出議案について

(評議員会)

開催年月日	出席者数	議 決 事 項
令和2年6月8日	評議員7名	定時評議員会（決議の省略） <ul style="list-style-type: none"> ・ 令和元年度事業報告について ・ 令和元年度決算について
令和2年11月20日	評議員7名	臨時評議員会（決議の省略） <ul style="list-style-type: none"> ・ 令和2年度補正予算について ・ 育児介護休業規則の一部改正について ・ ハラスメント防止規則
令和3年3月31日	評議員7名	臨時評議員会（決議の省略） <ul style="list-style-type: none"> ・ 令和2年度補正予算について ・ 令和3年度事業計画について ・ 令和3年度予算について ・ 役員等報酬規程の改正について

(7) 法人経営会議開催状況

開催年月日	議 事
令和2年4月24日	・令和2年度抱負・目標について ・法人運営方針 ・新年度予算の執行 ・新人事体制 ・処遇改善手当について ・勤務評価の実施 ・外国人技能実習生の進捗状況について ・ 新型コロナウイルス感染症対策について
令和2年5月29日	・理事会の開催結果 ・令和元年度決算及び事業報告 ・定時評議員会の開催と決議の報告 ・集団指導、実地指導、指導監査について ・新型コロナウイルス感染症対策 ・県老協協 からの感染症発生時における職員の派遣に関する覚書 ・法人経営実績報告 ・市内の介護 施設情報報告 他
令和2年6月26日	・夏季賞与・処遇改善手当等の支給 ・処遇改善手当の支給方法の変更・パート職員への特 別手当支給 ・人事関係（採用・復職） ・法人資金収支実績、事業収入比較報告 ・集 団指導について ・尚古園玄関前洗面所の設置 ・尚古園ウェブ面会の実施 ・ふれあい夏 祭りの中止について 他
令和2年7月29日	・介護職員不足への対応 ・人事状況 ・介護職員処遇改善手当の支給方法の変更（7月か ら月額支給） ・夏の交通安全運動 ・新型コロナ感染症緊急包括支援事業 ・加算の再 精査、報酬の見直し ・法人経営実績報告 ・各事業所の稼働状況 ・尚古園内階段門扉 の設置 ・第三者委員会の開催 他
令和2年8月28日	・人事状況（職員の定着） ・新型コロナ対策（高齢者施設での発生時のアクション） ・ 加算の算定状況報告 ・法人経営実績報告 ・稼働状況報告 ・新型コロナ感染症緊急包括 支援事業の活用：備蓄物品の購入と管理 ・公印の管理 ・尚古園夏まつりの反省 ・光熱費 使用状況報告 他
令和2年9月25日	・秋の交通安全週間 ・新型コロナウイルス感染症対応 ・インフルエンザ予防接種 ・ス トレスチェックの実施 ・有給休暇の消化（年間5日） ・人事（内示）状況 ・理事会開 催日程 ・法人経営状況報告 ・補正予算要求の提出 ・職員勤続表彰者 ・光熱費使用状 況 他
令和2年10月23日	・理事会の開催 ・新型コロナウイルス感染症対応 ・上半期法人経営状況 ・人事状況 （流動） ・12月賞与に係る勤務評価表の提出 ・法人経営実績報告 ・稼働状況報告 ・ 新型コロナ対応従事者慰労金支給 他
令和2年11月27日	・新型コロナ感染症対策 ・介護送迎事故注意 ・インドネシア介護実習生の現況 ・年次 有給休暇の消化 ・育児介護休業規則の改正 ・ハラスメント防止規則の制定 ・勤務評価 結果 ・経営会議の周知徹底 ・人事状況 ・尚古園デイ活性化検討会議の設置 ・令和3 年度予算調書の提出 ・法人経営実績報告 ・光熱費使用状況報告 ・事業所連絡会義報告 ・火災予防 ・賞与の支給 他
令和2年12月25日	・年末年始の対応 ・職員の健康管理 ・喫煙の取り扱い ・送迎時の運転業務 ・備品管 理 ・法人資金収支状況報告 ・法人経営実績報告 ・尚古園デイ活性化検討会議の結果報 告 ・新型コロナ対応助成金 ・今年度の予算執行 ・令和3年度予算について ・光熱費 使用状況報告 他
令和3年1月22日	・新型コロナウイルス対策 ・年度末に向けての取り組み ・嘱託医の変更 ・令和3年度 介護報酬改定 ・人事状況 ・法人経営実績報告 ・法人資金収支状況報告 ・稼働状況報 告 ・光熱費使用状況報告 ・コロナ対応補助金 ・尚古園玄関前面会室設置 他
令和3年2月26日	・3月理事会の開催 ・年度末に向けて ・令和3年度法人事業方針、事業計画 ・令和3 年度介護保険運営基準の改正 ・新年度各種加算の算定 ・法人経営実績報告 ・法人資金 収支状況報告 ・光熱費使用状況報告 ・稼働状況報告 ・花見会の実施 他
令和3年3月26日	・新年度に向けて ・令和3年度制度改正 ・新年度職員体制について ・年度初め式及び 辞令交付式 ・3月理事会の開催 ・令和3年度稼働目標 ・法人経営状況報告 ・令和2 年度事業報告書の作成 ・新年度予算執行 ・光熱費使用状況報告 他

(8)善隣会職員数（令和3年3月31日現在）

事業所	職員数					異動（年間）			
	正職員	嘱託職員	パート	非常勤	合計	採用	退職	異動 出入	
法人本部	2	1	0	0	3	0	0	0	0
特別養護老人ホーム 尚古園	41	5	8	1	55	5	10	1	2
サテライト特養 尚古園	11	2	4	0	17	5	3	2	1
尚古園デイサービスセンター	6	4	1	0	11	4	3	1	0
サテライト尚古園デイサービス	0	4	1	0	5	1	0	0	0
グループホーム山径	5	3	2	1	11	2	3	1	2
尚古園居宅介護支援事業所	1	1	0	0	2	0	0	0	0
合計	66	20	16	2	104	17	19	5	5

2、令和2年度事業報告

令和2年4月1日～令和3年3月31日

令和2年度は、世界中が新型コロナウイルス感染症の大きな渦に巻き込まれ翻弄された1年であり、未だに脱却できない状況にあります。

緊急事態宣言が出されたことにより高齢者介護施設においては、感染拡大予防策の徹底など様々な対応に追われる中で、営業の自粛や介護サービスの利用控えの拡大などの影響により、経営状況は非常に厳しいものとなっております。

全国の特別養護老人ホームにおける介護保険収入は、前年比で約35%以上の施設が減収となっており、通所介護施設においては、更に悪化している状況にあります。

このようなコロナ禍にあつて、善隣会では令和2年度法人事業方針に掲げた4つに重点目標の推進と、高齢者福祉施設の“安全で質の高い介護サービスの提供”という本旨を実現するため、懸命なる取り組みを行ってまいりました。

特に、新型コロナウイルスのダメージが顕著となった通所施設である“尚古園デイサービスセンター”の経営の安定化を図るため、「尚古園デイ活性化検討会議」を立ち上げ、現在の在宅介護需要に対応する中で、実効性ある具体策を検討してまいりました。

また、新型コロナ関係の交付金等を有効活用し、感染症対策や施設整備に努めるとともに、増大する介護職員の記録作成等に係る労働時間を短縮し、日常のケアや介護事務の質の向上を図るため、介護ケアシステムを導入するなど、働き易い職場づくりや職員の待遇改善にも取り組んできたところでもあります。

その結果、令和2年度においても健全経営を維持できる見通しとなったところであります。

1, 法人経営の健全化について — 尚古園デイ活性化検討会議の設置—

先に述べたように、全国の通所介護施設は、新型コロナウイルス感染拡大の影響で営業の自粛や利用控え等により、経営状況の悪化が顕著となっております。

尚古園デイにおいても、このような理由や入院者の増加等により稼働率が低迷し、看過できない状況にあったため、地域の高齢者ニーズに的確に対応し、介護サービスの向上と経営の安定化を図ることを目的に、昨年11月「尚古園デイ活性化検討会議」を設置しました。

延べ3回の会議では、次のとおり実効性ある具体的な提言が得られました。

①尚古園デイの魅力をアピールする広報活動の推進（地域自治会・居宅事業所・ケアマネ等へ）

⑦特養併設のデイであり⇒ショート⇒特養入所へと一元的な受け入れが可能。

⑧職員のスキル・マンパワー（介護職員10名・看護職員2名体制・医療的ケア・機械浴の充実）

⑨デイでの生活を動画やチラシで発信（食事内容もアピール）

⑩媒体としての他の居宅事業所（ケアマネ）との関係づくり

②アンケート調査を実施し、利用者や家族のニーズを定期的に把握

職員の待遇・食事内容・入浴・レクリエーション・居室・設備等について

③介護の基本の再確認

声掛けや“おもてなしの心”の実践し、満足感や楽しさが享受できるよう職員意識を高める。

④尚古園居宅介護支援事業所との連携

尚古園居宅（紹介側）と尚古園デイ（受入側）との柔軟な対応を図る。

尚古園デイではこの提言を踏まえ、12月以降精力的な活動を行い、2月には稼働率が80%に迫るところまで回復しました。

これを尚古園デイだけの問題として捉えるのではなく、法人全体の課題として取り組む必要性を強く共有したところであります。

2, 介護サービスの充実について

(1) 介護事故0への取り組み

令和2年度の重点目標である介護事故防止への取り組みに対して、特養尚古園では年間を通じて徹底した事故原因の分析と再発防止策の検討・周知・徹底に取り組んでまいりました。

年間のアクシデントの発生件数は122件であります。前年度132件、前々年度149件と比較して減少しております。

また、ヒヤリハット発生件数365件は、前年度166件、前々年度163件と比較して大幅に増加しており、事故発生前の気付きの意識が高まっており、事故を未然に防ぐことへの対応が充実した結果となっております。

ただし、ヒヤリハット中の69件は独歩発見によるものであり、発見の遅れがアクシデントになり得る可能性もあり、アクシデント30件は転倒によるものであり、その結果、骨折により入院となった方もおりました。

介護事故0を実現していくには、今後も継続した対応と新たに採用となる職員への教育など、解決していかなければならない問題もあります。

3月の実績により、年間を通じての取組みの評価を行います。ご利用者が「安全で安心して生活できる」施設を目指して今後も取り組んでまいります。

(2) 介護ケアシステムの導入

ICTを活用した介護記録システム導入の取り組みは、昨年12月15日山梨県からの、令和2年度介護事業所ICT導入支援事業費補助金の交付決定(1,399,000円)を受け、12月22日リコージャパン(株)と介護記録システム「ケアカルテ」の導入契約を締結、ヤマダ電機(株)から入力端末(PC、iPad4台)の購入を行いました。

・ケアカルテ導入(リコージャパン(株))	3,110,140円	
・PC、iPad購入(ヤマダ電機(株))	328,680円	計 3,438,820円

現在、初期設定を終えて、記録システム操作指導を受け操作訓練の実施や環境設定を行っており、本稼働は4月を予定しています。

令和3年度介護保険制度改正においても、新たな加算として介護記録等のデータ提出と活用を算定要件とする新設加算が設定されました。

今後は、介護ケアシステムを活用した新設加算の算定の取り組みを進めてまいります。

3、職員の待遇改善

①「介護職員処遇改善手当」の支給方法の見直し

介護職員の賃金改善を図るため、毎年6月の賞与時に一括支給してきましたが、職員要望や他の福祉施設の支給方法を勘案し、令和2年7月給与から月額支給に改め、毎月の手取り額の増加を図りました。

②「介護職員等特定処遇改善手当」の支給

令和元年10月に創設され、介護職員以外の職種にも充てることができる制度で、令和2年から毎年6月の賞与時に一括支給いたします。

③「介護職員以外の職種への一時金」の支給

介護職員との不公平感を是正するため、法人資金を原資として毎年6月の賞与時に一時金を支給してきましたが、上記①と同様に令和2年7月給与から月額支給に改めました。

④「パート職員への特別手当」の支給

令和2年度初の取り組みとして、賞与や手当の支給対象となっていないパート職員に対し、日ごろの労に報いるため、6月と12月の賞与時に、5,000円から30,000円の範囲内で特別手当を支給しました。

以上の4項目の実施は、多くの職員から歓迎の声が寄せられていることから、今後の労働意欲の向上に繋がるものと考えています。

4、新型コロナ対策について

(1) 感染症対策の実施

昨年2月26日以降、「コロナウイルスを持ち込まない」ことを旗印に、6回にわたる感染症対策委員会を開催し、法人・利用者・家族・職員・業者等に対する個別具体的な感染症対策の徹底を図ってまいりました。

その結果、今日まで利用者や家族・職員等の懸命なる取り組みにより、新型コロナウイルスを封じることができております。

今回実施した具体的な感染症対策は次のとおりです。

- ①マスク・検温・手洗い・消毒・3蜜回避の徹底
 - ②面会禁止(ガラス越し・オンライン面会の実施)
 - ③部外者立入制限
 - ④定期的窓開け換気
 - ⑤体調不良者の出勤停止
 - ⑥私生活での自粛(県外移動・会食等)
 - ⑦会議方法の工夫(オンライン等)
 - ⑧感染症発生時対応研修会の実施
 - ⑨感染症衛生用品の備蓄
 - ⑩加湿器・足踏み消毒器(ゴミ箱)
 - ⑪飛沫防止用仕切り
 - ⑫便座消毒器
 - ⑬玄関前洗面所(2か所)
 - ⑭プレハブ面会室の設置
- ほか

(2) 新型コロナ緊急支援事業

感染防止対策としての設備設置や、感染症防止用品購入に係る国からの交付金

総額7,215,000円

①すべてのサービスが対象となる感染症対策を徹底した上での介護サービス提供支援事業

6,258,000円

主な内容は、㊦玄関前洗面所 ㊦感染症衛生用品（ガウン・プラスチックグローブ・マスク・使い捨て食器・消毒液ほか）㊦プレハブ面会室 ㊦飛沫防止用仕切り ㊦除菌装置 ㊦ノートパソコン ㊦足踏み式手指消毒器 ㊦空気清浄機 ㊦加湿器などの購入

②在宅サービス事業所における環境整備への助成事業

957,000円

主な内容は、㊦ノートパソコン ㊦タブレット ㊦飛沫防止用仕切り ㊦イオン発生器 ㊦各種テーブル ㊦デスクなどの購入

5、外国人技能実習生の受入れ

新型コロナウイルス感染拡大の影響により、令和元年12月に採用が決定しているインドネシア介護技能実習生3人の入国の目途が未だに立っておりません。

日本語検定試験には、実習生全員が入国条件であるN4に合格し、内2名はN3に合格しており、一刻も早い入国と尚古園での勤務を念願していることと思います。

今後、入国停止が解除された場合は、①ビザ申請受付開始 ②ビザ交付 ③入国前14日間の隔離と72時間以内のPCR検査を経て出国となり、入国後2か月の研修を行った後に尚古園への着任となりますので、何時入国停止が解除されても、対処できる職場環境と生活環境等の整備に努めてまいります。

6、施設整備等の実施

(1) 低床ベッドの導入（特養尚古園）

入所者の安全確保のため、転落リスクの低い低床ベッドへの計画的導入

(2) 玄関前洗面台設置工事（特養尚古園・尚古園デイ・グループホーム山径）

感染対策による手洗い場設置工事 ※新型コロナウイルス感染症緊急包括支援交付金

(3) エアコン入替え工事（尚古園デイ）

機器老朽化による入替え工事

(4) 玄関前プレハブ面会室設置（特養尚古園）

感染対策として設置 ※新型コロナウイルス感染症緊急包括支援交付金

(5) オゾン発生空気清浄機の導入（法人内全通所施設）

ホール内感染予防のための機器購入 ※新型コロナウイルス感染症緊急包括支援交付金

3、運営組織

委員会

〈第三者委員会〉

苦情解決責任者・同受付担当者・第三者委員を選任し、介護サービスについて利用者等から寄せられる苦情などの適切な解決を目指し対応してきた。第三者委員会は年2回（8月と2月）開催され「苦情申し立て」について報告がされた。また、苦情とは別に利用者等から寄せられたニーズ等へ対応してきた

状況について報告もされた。会議では第三者委員から、より良い支援につなげられるようなアドバイスやご意見を頂いた。

尚、今年度はコロナ禍という状況から、下半期は書面開催としたところ、各事業所や委員からの意見等のコメントが多く寄せられ、通常の会議開催時よりもより充実できる内容となったことは大きな成果であった。

第三者員委員会苦情報告件数

(上半期) →①特養…1件、②サテライト特養尚古園…0件、③GH山径…0件、④尚古園デイ…0件、⑤緑が丘デイ…0件、⑥サテライトデイ…0件、⑦山径デイ…0件、⑧尚古園居宅…0件

(下半期) →①特養…1件、②サテライト特養尚古園…0件、③GH山径…0件、④尚古園デイ…0件、⑤緑が丘デイ…0件、⑥サテライトデイ…0件、⑦山径デイ…0件、⑧尚古園居宅…0件

*今年度、上半期、下半期ともに尚古園での苦情が1件ずつ発生した。

昨年度と同様に苦情内容はホスピタリティマナーの基本ができていないといった苦情であった。

これは福祉法人としては致命的なことでもあり、昨年度の反省として法人全体でホスピタリティマナーを基本とした生活支援を見直す取り組みを行ってきたはずであったが、改善できていないことが露呈する結果でもあった。

*今年度、下半期は書面での開催とした結果、各事業所からの質問や意見等が多く寄せられ、質問や意見を受けた事業所に検証をやり直すよう差し戻し、対応を検討したことは今後のケアにつながるものと評価している。来年度はこの方法を継続して行きたいと考える。

〈教育・研修委員会〉

個々の事業の実情に沿った内容で、各事業所リーダーが自事業所の研修を計画し、実践していく形で進めてきた。担当職員にとって、計画～準備～実施～報告の一連の流れを実践し、知識を深め、人に伝える技術などの学びの機会となり、各事業所リーダーのみでなく中堅職員のスキルアップに繋がる貴重な機会となっている。

なお、各事業所での年間研修は計画通り実施することが出来た。

〈リスク対応委員会〉

高齢者施設において発生しうるリスクに対応するために、総合的にリスクに対応できる委員会として活動を行ってきた。

新型コロナウイルス感染症のパンデミックの終息が見込まれない中、事業所ごとそれぞれの特性を踏まえた感染対策を徹底し、感染者を出す事のない様感染対策の徹底に努めた。

また、法人として感染症対策物品の整備と備蓄を行った。

〈衛生委員会〉

職員の健康診断の結果に基づき実施した保健指導及び産業医の指導による腰痛対策などを通じて、職員の健康管理の取り組み等を実施した。

メンタルヘルス対策も定着し、年間を通じてメンタルヘルスに不調をきたす職員はいなかった。

また、ストレスチェックの実施は、産業医の協力により実施、メンタル不調等に該当する職員はいなかった。

会 議

〈法人経営会議〉

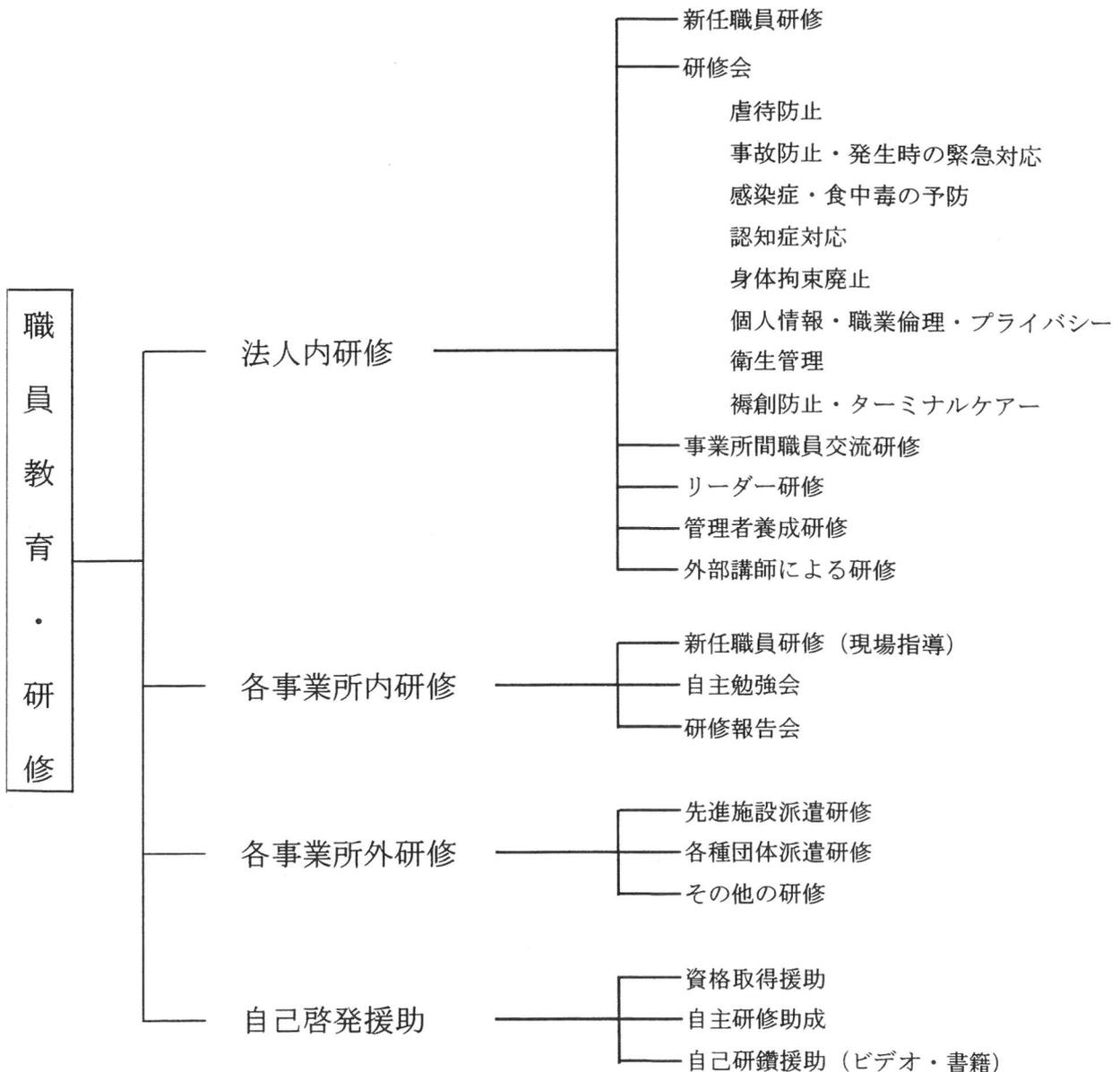
理事長・常勤理事及び各事業所の管理者等で構成し、法人運営の最高決定機関として、法人事業全体の適切な運営及び経営について協議を行った。

理事長及び業務執行理事から経営状況や当面する課題や人事を中心とする組織運営状況、法人事務局長から介護事業収入状況や介護情報の提供が行われた。また、各事業所の稼働状況（稼働率）への対応や施設整備に関する協議、また、直面している各種課題についての協議・検討を行い、積極的な議論の場としての活用を図る中で重要業務の意思決定を行ってきた。

〈事業所連絡会議〉

各事業所の運営者・生活相談員等で構成し、各事業所の持つ情報を共有しつつ協力し合い、多様化する利用ニーズに合うサービス提供やより良いケア実践を行うための検討と意見交換の場としてきた。

4、（福）善隣会 令和2年度職員教育・研修体系



特別養護老人ホーム尚古園



1、利用者生活支援状況（報告）

（1）支援方針総括

『ご利用者の立場に立った生活支援をすすめること』を基本とし、施設サービス計画に基づき一人ひとりに適した速やかで柔軟性のある援助を効果的に行うため他職種間の連携を密にし心身の健康保持と自立支援に努め、合わせて生活の活性化をはかるものとし取り組んだ。自立支援に向けた「個別ケア」の推進やケアの質の向上、業務の効率化に取り組んできた。介護として利用者様一人ひとりに適した援助を心掛けたが、対応が遅れてアクシデントが発生した事もあった。この事を真摯に受け止め結迅速な対応、早期発見早期改善に努めていかなければならない。しかし、事故を未然に防ぐという意識が徐々に高まりつつあり、事故の件数は減少している。

（2）各部署からの報告

<事務>

- ・ 年間を通じて介護保険請求業務、勤怠管理など、事務局の業務管理は適切に処理することが出来た。
- ・ 介護職員の業務が円滑に遂行できるように、事務局で係わる支援業務は継続的にタイムリーな対応ができた。
- ・ 事務部門としてご利用者・ご家族から信頼され満足して頂けるサービスを提供することができた。
- ・ 感染予防の対策として、玄関の施設管理や来園者の検温確認などを行った。

<医務>

- ・ 高齢で基礎疾患を持ち、また人生の最終章にある方々をあずかる立場であることを肝に銘じ、ご利用者の心身の管理をおこなった。
- ・ 施設での看取りは11名であった。各ケースとも、家族への説明と要望を踏まえた話し合いを重ね、他職種との協働のもと医療専門職としての役割を果たした。
- ・ 健康診断として血液検査と胸部レントゲン検査を実施し、健康管理を行った。異常が見つかり、嘱託医の指示のもと、病院での精査治療につなげたケースもあった。
- ・ 新型コロナウイルス感染症の施設内への持ち込みと蔓延防止に努めた。

<管理栄養士>

- ・ 施設多職種・給食委託業者・法人内の複数管理栄養士との連携により、食事内容や栄養管理について情報交換や課題についての取り組みが実施できた。令和3年度も、食事管理・栄養管理の質の向上を継続していく。
- ・ 栄養カンファレンスを通して、多職種で栄養管理について評価し、改善策を実施することで、ご利用者の栄養管理を改善できた。同時に、栄養部門からの栄養管理に関する情報発信を行った。
- ・ 各職種と連携し、行事食やイベントを充実させることができた。令和3年度も、行事食等を充実させていく。

<介護>

- ・ アクシデント発生に対して真摯に取り組む必要がある。全職員が初心に立ち返り、介護の役割を再認識していかなければならない。ヒヤリハットの件数が増えアクシデントの発生件数は減少した。
- ・ 居室担当制から個別担当制に変更。ご利用者、ご家族様が安心できるように長期的に同じ職員が個のケアの中心となり質を上げていく。
- ・ ショートステイの日中の余暇活動が少しずつ定着してきている。日中の活動についてアプローチしきれていない部分もあるが利用者様のニーズに耳を傾け、できる事をタイムリーに実施していきたい。

<生活相談員>

- ・ 退所者数は年間17名（男性6名女性11名）と昨年度より5名減少となった。12・2月は退所者0名であった。
- ・ 入所待機による空床日数は月平均2日のみ、対昨年比で4.8日減となった。また、入院による空床数も

昨年比 238 床減の 394 床となり、年間平均入所稼働率は昨年度を 1.4% 上回った 98.6% となり、目標を達成した。

- ・ 12 月に入所待機者 206 名に対し、意向調査を実施した。回答率は要 3 以上 57%、要介護 2 以下 44% 回答あり。
- ・ ショートステイは、新型コロナウイルス感染症対応として、当法人以外の新規ショートショート利用者受入れを中止した一方で、ロングショート床数を増やし受入れた為、年間通して高稼働率を達成することが出来た。
- ・ 3 月に利用者・家族に対しサービス満足度調査を実施し
- ・ 、その結果を利用者・家族・関連居宅介護事業所に公表した。
- ・ 新型コロナウイルス感染症対策により、オンライン面会、ガラス越し面会を実施したほか、面会中止期間には、事務連絡にご利用者の生活のご様子の写真を掲載して、ご家族に安心して頂けるようにした。
- ・ 新型コロナウイルス感染症対策により、ボランティアの受け入れは中止した。

<機能訓練担当>

- ・ ADL の維持に繋がられるよう意識して訓練計画を作成・実施し、可能な利用者様には ADL 場面で訓練を行うように配慮した。また、介護スタッフと協力をして御利用者の自立支援や安全に繋がる介入を検討・実施をした。
- ・ 必要に応じて、補助具や介護用品の必要性を検討し、安全な ADL や安楽な姿勢に繋がるよう対応をした。
- ・ リハビリの他に利用者様の居室環境、衣類などの清潔管理の面で関わりを持った。
- ・ コロナウィルスの影響による外出制限があるので、リハビリ時には、外気に触れて気分転換できる機会を設けるように意識した。

<介護支援専門員>

- ・ 園の生活支援方針を念頭に置いて、ご入所者とご家族の意向を汲み取り出来る限り個別性と自立支援を目指した施設サービス計画書の作成を実施した。
- ・ サービス担当者会議において、ご入所者の状態をご家族、多職種間でしっかりと共有し具体的な課題や援助方法を明確にし、園での生活が充足し、且つご家族との関係性を構築することを意識し開催した。
- ・ 終末期に対するお考えの確認については、様々な視点を持ってご家族の意向を汲み取る工夫が必要だと感じ、今後も多職種協働で支援を進めていきたい。
- ・ 多職種と連携し、直面する課題を放置しないように都度、カンファレンスを開催し話合う事で、アドバイスを得る様に努力した。
- ・ 平成 27 年度以降、特養への入所基準が要介護 3 以上となり、ご入所後に体調を崩され短期間で退所されるケースも増えている。施設の役割として重度の方をお受入れしていくためには、現状の課題に対して、益々多職種の連携が重要であり、各専門職とコミュニケーションを図りながら支援を進めていきたい。
- ・ 平成 31 年度、令和元年より、施設介護支援専門員が 2 名体制となり、3 年が経過した。これまで以上に、個々のご入所者に対する状況の把握や、課題の分析が行える様になったと感じる。しかし、現在の尚古園の課題として、年齢と共に重度化され、より多角的なご支援が必要となられた方と共に、認知症状を伴う行動障害等を起因とした、転倒骨折が多数発生しており、事故を未然に予防する取り組みが求められています。引き続き、2 名で連携し、より細やかに、より迅速に皆様の安全で安心な生活をお手伝いさせて頂ける様に取り組みます。
- ・ 新型コロナウイルス発生に伴い、ご入所者、ご家族に不自由な生活を強いており、お互いに少しでも安心して過ごして頂ける様に、報告、連絡、相談を心掛けていきたい。

(3) 委員会からの報告

<防災委員会>

- ・年間計画に沿って、定期的に防災教育や防災訓練、設備点検等を実施。緊急連絡網や自然災害マニュアル等の整備も行った。
- ・災害についての教育も実施したが、委員以外でもしっかりと対応できるように体制を整えていく。

<身体拘束廃止・虐待防止委員会>

- ・昨年度は、委員会を自分たちのケアを振り返る場として議論し、内容をユニット会議で共有してきた。当たり前に行ってきたケアの中に潜む不適切な対応に、まずは気づき、認めることが大切である。さらに大切なのは、気づきを風化させないことであり、年間通して発信し続けることが必要であると改めて認識した。来年度は、意識の底上げという意味で委員を増員するため、全員で一丸となり不適切ケアの撲滅に取り組んでいけるよう努めていきたい。

<食事検討委員会>

- ・令和2年度は、「ご利用者のQOLの維持のために、給食管理および栄養管理の質を向上させる」を目標とした。上記、管理栄養士の項目でも報告した通り、様々な行事食やイベントを提供することができた。令和3年度もご利用者のQOLの維持のために取り組みを行いたい。
- ・会議前に意見を収集することで、会議時間短縮しつつ、質を高めることができた。令和3年度も同様の方法で会議を行っていく。

<感染症対策委員会>

- ・今年度は、年間を通して、新型コロナウイルスの感染防止に向けた取り組みを行った。
- ・冬季は、地域のインフルエンザ警戒レベルに合わせて外出や面会の制限を行ったが、引き続いて起きた新型コロナウイルスのパンデミックに対応し、感染症対策を実施した。
- ・中途採用職員に対して、オリエンテーション時に感染症対策についての指導をタイムリーに行い、職員の標準化を図った。
- ・感染症の研修会は、6月は「新型コロナウイルス感染者発症時の対応事例」について資料を配布し、シミュレーション学習を行った。又、防護具の着脱方法については、動画を撮影しオンライン学習を行った。オンライン学習については、初めての試みであったが、各自が繰り返し学習でき、非常に有効であった。冬季には、ノロウイルス感染症の対応として基本的な嘔吐物処理方法と手袋エプロンマスク等の正しい扱い方についてデモンストレーションを行った。

今回起きている新型コロナウイルス感染症のパンデミックのような事は今後も繰り返されることが考えられ、介護施設にとって基本的な感染症対策、技術は必須である。

<介護事故防止委員会>

アクシデント発生件数は122件と、前年度の140件に比べ18件減少した。転倒による骨折については前年度より減少したものの2名発生してしまった。またヒヤリハットの件数は、前年度3倍の365件となった。一年間取り組んできたが、成果も出た部分もあれば継続課題もある。前年度に比べて入院に繋がる事故も減っているので十分成果がでていけると感じる。今後も事故を未然に防ぐ為、現状の把握や要因の分析の力を挙げていく取り組みを行っていきたい。

<褥創防止対策委員会>

- ・勉強会では車椅子乗車中の除圧（座り直し）のデモンストレーションを行い、必要性の再発信。配膳時の座り直しと正しい姿勢保持に対する意識の向上に努めた。また、適切な方法で排泄ケア（洗浄と軟膏塗布）を行うことの重要性について働きかけた。
- ・オムツ交換時、必要な方への陰部や臀部の洗浄の実施は、以前に比べ定着し、徹底されてきているがおむつかぶれや、かいてしまった表皮剥離の発生はあった、都度陰部洗浄や軟膏塗布を断続し、離床時間

の調整、臥床時体位の分散を行うことで褥瘡までの発生はなかった。

- どのご利用者に何のケアを実施しているかを記すために、ホワイトボードを使用した。口頭での発信が多くあまり更新ができなかった、今後検討課題。
- 適切で安楽なポジショニングの徹底を図るため、利用者個人をPTが評価し、写真作成を実施した。
- ご利用者個人に必要な介護用品（クッション、当て物）の選択については、担当職員と話しあい個々に合ったものも選定した。
- これまで同様に褥瘡発生を予防する取り組みを続けながら（褥瘡マネジメント加算取得を見据えて）介護ケアシステムを活用しPDCAサイクルに沿ったケア体制を作り上げる。

<医療行為検討委員会>

- 看護と介護の連携のもと、トラブルなく、安全に医療行為（経管栄養）の実施ができた。
- 初任者研修で、施設における医療について総合的な指導を実施している。

2、年間行事表

年 間		月 間	旬 間	週 間	日 課
R2.4月	花見会 花見浴	お誕生日会 諏訪神社参拝 物故者供養 墓参り 理髪 出張美容室 ひまわり会 お好みメニュー	歯科診察 (第1・3木曜日)	内藤医師診察 (水曜日)	機能訓練
5月	端午の節句 母の日				
6月	父の日 創立記念日				
7月	七夕祭り				
8月	納涼会				
9月	敬老会 十五夜				
10月	十三夜 運動会 紅葉浴				
11月	焼き芋会				
12月	忘年会 クリスマス会 もちつき				
R3.1月	新年祝賀会				
2月	節分				
3月	ひな祭り 物故者慰霊祭				

3、職員研修状況

(1) 施設外研修

令和2年4月～令和3年3月

年月日	研修主催者	研修内容	参加人数	研修場所
9.29	山梨県労働基準協会連合会	安全衛生推進者要請講習	1	山梨県立中小企業人材開発センター
10.6	山梨中央銀行	介護経営セミナー	2	ジット甲府プラザ
10.21	甲府市福祉保健部	介護認定調査員現任研修	1	山梨県立文学館講堂
11.7	日本介護福祉士会	技能実習指導員講習	1	山梨市民会館
11.16	日創研グループ	相談員の稼働率管理	1	オンライン
1.14	山梨県歯科医師会	食べる機能のメカニズムとその障害	2	オンライン

(2) 施設内研修

月 日	内 容	担 当
4月2日(木)	「初任者研修」	各担当責任者
8月4日(火)	法人事業・事業計画・就業規則・職業倫理・衛生教育 防災教育・生活支援・事故防止・機能訓練・介護保険 身体拘束廃止虐待防止・医療・感染対策・ターミナルケア 食事・介護・記録 等について	
10月1日(木)		
	月毎法人施設内研修	
6月19日(金)	感染症勉強会「コロナウイルス発症時の対応」	感染対策委員会 中込
7月24日(金)	事故防止について KYTとアクシデントレポートの新書式について	事故防止委員会 山崎
8月31日(月)	認知症ケアとターミナルケア	認知症実践者研修 飯島
9月14日(月)	身体拘束・虐待防止について	身体拘束委員会 小田切淳
10月28日(水)	新型コロナウイルス発症時の対応	感染対策委員会 中込
11月11日(水)	嘔吐処理方法の実技	
11月20日(金)	防災教育 ～自然災害マニュアルについて～	防災委員会 齋城
12月14日(月)	アンガーマネジメント	介護リーダー 小田切宏樹
1月18日(月)	褥瘡防止について	褥瘡防止委員 古屋
2月25日(木)	身体拘束防止・スピーチロックについて	身体拘束防止委員 大森
3月31日(水)	事故防止について 令和二年度の活動の評価と対策	事故防止委員 小田切宏樹

4、施設実習受け入れ状況

令和2年度の実習受け入れは、~~実習期間~~の新型コロナ対応により中止となり、受け入れはなかった。



5、在宅サービス受け入れ状況

短期生活介護（ショートステイ）

年月	R2.									R3.			合計
	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	
利用者数	14	12	14	12	15	15	16	16	14	15	13	15	171
延日数	259	236	204	224	256	259	241	222	274	305	252	302	3034

年間利用実員 32人

関連在宅支援事業所数 12事業所（尚古園居宅含む）

甲府市 12事業所

6、ボランティア受け入れ状況

〈グループ別月間集計〉※ご来園順

グループ名	年 月			R2									R3			計
	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3				
<自治会・女性部団体>																
和田町																
大手東部女性部										1					1	
緑和自治会女性部																
岩窪地区女性部																
朝日地区女性部																
緑が丘老人クラブ																
相川地区女性部																
峰本女性部							2								2	
上積翠寺女性部										1					1	
下積翠寺女性部																
小松町女性部																
塚原女性部																
日影女性部										1					1	
北新文協リメイク部																
桜自治会女性部																
<サークル・ボランティア団体>																
セイビドー																
ブリランテ・マンドリーノ																
一寸法師																
あんまボランティア																
さつき会																
千塚鼓友会																
二三千代会																
消防本部音楽隊																
タロー&ジロー(ウクレレブラザーズ)																
<宗教団体等>																
甲府福音教会																
佛念寺 藤谷真之先生																
<学校・保育園関係>																
押原子供園																
山梨学院大学付属高校																
山梨県美容専門学校																
KFJr 合唱団																
駿台甲府高校管弦楽部																
北新小学校																
<個人>	2	1								2		1			6	
<家族>																
<企業・法人・その他>																
電設協会																
合 計 (団体)	1	1					1	1	2	1	1				8	
(人)	2	1					2	1	3	1	1				11	

※ = 雑巾、タオル寄贈の為来園

7、食事と栄養

(1) 年間行事食献立

年 月 日	行 事 名	献 立 内 容
毎月 1 日	誕生日会	御赤飯（栗・甘納豆）、季節感のある副食
毎月 1 日	お好みメニュー	主食（御飯物、麺類等）の 2 種類からひとつ選択
毎週数回	選択おやつ	味や種類を変えた 2 種類からひとつ選択
4 月 1 日	お花見会	五目山菜ご飯、山菜の天ぷら、春野菜の煮物、桜漬け、わさび和え、ごま豆腐、そば汁、菓子類、甘酒、アルコール、飲料類
5 月 5 日	端午の節句	いなり寿司、五目玉子焼き、春野菜の煮浸し、つみれ汁、ぶどう缶（おやつ）ととやき
6 月 24 日	法人創立記念日	栗の赤飯、天ぷら、冬瓜のそぼろあんかけ、酢の物、かきたま汁、メロン（おやつ）ねりきり
7 月 7 日	七夕	七夕そうめん、かき揚げ、枝豆、茄子田楽、マンゴー
7 月 21 日	土用丑の日	うな井、冷製茶碗蒸し、海藻サラダ、けんちん汁、りんご
8 月 18 日	夏祭り	お好み焼き、おでん、焼鶏、焼もろこし、チョコバナナ、アルコールソフトドリンク
9 月 21 日	敬老の日	栗の赤飯、天ぷら、炊き合わせ、菊花和え、すまし汁、りんご（おやつ）ねりきり
9 月 22 日	秋分の日	おはぎ 3 種、鶏肉の炒り煮、春菊のわさび和え、味噌汁、バナナ
10 月 1 日 10 月 29 日	十五夜・十三夜	月見うどん、かぼちゃのそぼろ煮、茄子の涼拌、りんご（おやつ）月見ゼリー 栗ご飯、鶏の照り焼き、豆腐サラダ、揚げ茄子、すまし汁、キウイフルーツ（おやつ）月見ねりきり
12 月 15 日	餅つき	（おやつ）粒あん・きなこ・黒胡麻餅
12 月 25 日	クリスマス	ご飯、ツリーハンバーグ、グラタン、シーフードサラダ、卵スープ、バナナ（おやつ）ケーキバイキング
R3 年 1 月 1 日	新年祝賀会	雑煮、おせち盛り合せ（伊達巻、黒豆、昆布巻、紅白蒲鉾、栗きんとんなます、豚の角煮、日の出海老、筑前煮、ねりきり）、お屠蘇、みかん
1 月 7 日	七草	七草粥、鶏豆腐焼き、味噌田楽、春菊のわさび和え、とろろ昆布汁、キウイフルーツ
2 月 2 日	節分	中巻寿司、金平ごぼう、浅漬け、とろろ昆布汁、みかん（おやつ）甘酒、切山椒 （夕食）麦ご飯、松風焼き風、かぶサラダ、いわし缶、味噌汁
3 月 3 日	桃の節句	ちらし寿司、豆腐ハンバーグ、うどの酢味噌和え、すまし汁、ひなあられ（おやつ）和菓子バイキング
3 月 20 日	春分の日	おはぎ 3 種、春野菜の煮物、イタリアン和え、豚汁、いちご

(2) 栄養ケア・マネジメントによる栄養リスク判定

月	人数	リスク判定別人数		
		低リスク	中リスク	高リスク
2年4月	79	26	48	5
5月	80	25	48	7
6月	79	25	48	6
7月	80	23	53	4
8月	80	22	53	5
9月	81	22	54	5
10月	80	25	49	6
11月	79	26	49	4
12月	80	28	48	4
3年1月	80	27	49	4
2月	80	28	50	2
3月	80	28	48	4
平均	79.8	25.4	49.8	4.7
全体割合	100	31.8	62.3	5.8

(3) 食事内容・食形態別数

	一般食	腎臓食	糖尿病食	胃潰瘍食	肝臓食	膵臓食	脂質異常症食	貧血食	経管栄養	合計
常菜	6	7	2	0	0	0	0	0	0	15
キザミ	5	9	3	1	0	0	1	2	0	21
超キザミ	18	6	3	1	0	0	0	1	0	29
ミキサー	4	2	0	0	0	0	0	0	0	6
経管栄養	0	0	0	0	0	0	0	0	5	5
合計	33	24	8	2	0	0	1	3	5	76

令和3年3月31日夕食現在

8、ひまわり会（利用者の会）活動状況

※毎回、園からの情報提供、ご利用者からの要望、利用者間の話し合いを行なう。

日 時	参加人数	活 動 内 容
4月27日 15:30~16:00	15名	・新入園者、新入職員の紹介 ・5月の予定のお知らせ ・ご利用者からの要望等 ・体操 ・合唱
6月13日 15:30~16:00	18名	・新入園者、新入職員の紹介 ・7月の予定のお知らせ ・ご利用者からの要望等 ・体操 ・合唱
7月27日 15:30~16:00	16名	・新入園者、新入職員の紹介 ・8月の予定のお知らせ・ご利用者からの要望等 ・体操 ・合唱
10月26日 15:30~16:00	19名	・新入園者、新入職員の紹介 ・11月の予定のお知らせ ・ご利用者からの要望等 ・体操 ・合唱
11月30日 15:30~16:00	10名	・新入園者、新入職員の紹介 ・ご利用者からの要望等 ・12月の予定のお知らせ ・風船バレー ・体操 ・合唱

9、ご家族との連携

(1) ご家族への案内

	内 容
毎月	<ul style="list-style-type: none"> * 前月分入出金明細及び預り金残高、小遣い帳明細のお知らせ * 諸経費・小遣等領収書の発送 * 利用料請求 * 介護保険等の情報提供 * 当月及び翌月の予定のお知らせ
該当月	4月 … <ul style="list-style-type: none"> ・冬季面会制限の継続について ・花見会ご報告 ・広報誌「尚古園だより」をお届けします ・『高額介護合算療養・高額医療合算介護（予防）サービス費の支給申請手続き』のご案内
	5月 … <ul style="list-style-type: none"> ・面会制限の継続について ・環境整備について
	6月 … <ul style="list-style-type: none"> ・オンライン面会（テレビ電話面会）開始のお知らせ ・介護保険各種認定証・確認証の更新時期となりました ・衣替えの時期となりました ・衣類には必ず記名をお願いします ・令和2年の納涼祭について
	7月 … <ul style="list-style-type: none"> ・オンライン面会（テレビ電話面会）のお知らせ ・介護保険各種認定証の更新手続きはお済みですか ・衣替えの時期となりました ・衣類には必ず記名をお願いします
	8月 … <ul style="list-style-type: none"> ・介護保険各種確認証の結果について
	9月 … <ul style="list-style-type: none"> ・令和2年度胸部レントゲン検査のお知らせ ・各種減免の認定申請を有難うございました ・年金生活者支援給付金請求手続き ・夏祭りのご報告
	10月 … <ul style="list-style-type: none"> ・ご敬老慶祝セレモニーを開催いたしました ・衣替えの季節となりました ・インフルエンザ予防接種・予防投与について ・面会制限へのご協力ありがとうございます ・17：30～8：30までは留守番電話に切り替わります
	11月 … <ul style="list-style-type: none"> ・インフルエンザ予防接種について ・面会制限へのご協力有難うございます ・面会時間のご案内
	12月 … <ul style="list-style-type: none"> ・面会制限へのご協力有難うございます ・年末年始の面会は中止とさせていただきます
	1月 … <ul style="list-style-type: none"> ・面会制限へのご協力有難うございます
	2月 … <ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症に係る予防接種について～同意書提出のお願い～ ・面会中止のお願い
	3月 … <ul style="list-style-type: none"> ・介護報酬改定に伴う利用料金改定について ・新型コロナウイルス対策にご協力有難うございます

(2) ご家族との共同活動

今年度は新型コロナウイルス感染症対策の為、6月、12月の大掃除は中止し、職員のみで6月、10月に実施。

10、利用者の状況

(1) 年齢・性別

令和3年3月31日現在

年齢 性別	50	60	65	70	75	80	85	90	95	100	計	最高 年齢	最低 年齢	平均 年齢
	～ 59	～ 64	～ 69	～ 74	～ 79	～ 84	～ 89	～ 94	～ 99	以上 上				
男	0	0	1	1	4	0	2	7	0	0	15	93	69	84.07
女	0	0	1	1	9	9	7	19	11	8	65	103	69	89.09
計	0	0	2	2	13	9	9	16	11	8	80			88.10

(2) 在園期間

令和3年3月31日現在

期間 性別	1年 未満	1年 以上 ～ 3年 未満	3年 以上 ～ 5年 未満	5年 以上 ～ 10年 未満	10年 以上 ～ 15年 未満	15年 以上 ～ 20年 未満	20年 以上	計	1人当り 平均 在園 期間
	男	6	5	3	1	0	0		
女	9	20	10	21	4	1	0	65	4年 4ヶ月
計	15	25	13	22	4	1	0	80	3年 10ヶ月

(3) 退園理由

令和元年度退園者

区分 性別	死亡			長期入院 見込み	ご家族 の 希望	その他	計
	施設	病院	家庭				
男	6	0	0	0	0	0	6
女	5	2	0	4	0	0	11
計	11	2	0	4	0	0	17

(4) 入園前居所

令和2年度入園者

区分 性別	在宅	病院	養護老人 ホーム	特別養護 老人ホーム	老人保健 施設	グループ ホーム	ケア ハウス	短期入所 施設	計
男	1	0	0	0	0	0	1	4	7
女	0	2	0	0	0	1	0	8	10
計	1	2	0	0	0	1	1	12	17

令和3年3月31日現在

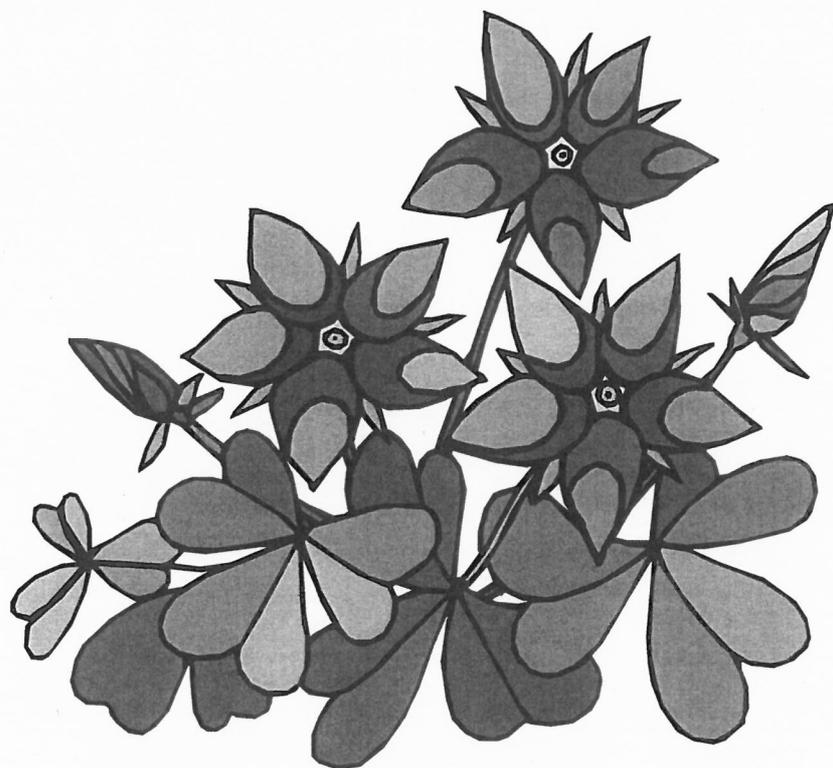
区分 性別	在宅	特別養 護老人 ホーム	ショー ト 専門棟	病院				老人 保健 施設	グループ ホーム	ケアハ ウス	その 他	計
				一般	療養型	リハ ビリ	精神 科					
男	1	0	4	1	0	0	1	1	0	0	7	15
女	12	0	8	5	1	6	2	11	2	0	18	65
計	13	0	12	6	1	6	3	12	2	0	25	80

(5) 介護度別人数の変化

入園者

介護度	R2. 3. 31 現在	R3. 3. 31 現在
1	1	2
2	5	4
3	21	20
4	27	24
5	26	30
合計	80	80
平均介護度	3.9	4.0

サテライト特養尚古園



1、利用者生活支援状況（報告）

(1) 支援方針総括

今年度はコロナウイルス感染症対策にむけ、いかに入居者の健康や生活を護るかということに終始した1年であったといえる。

今日に至るまでコロナウイルス感染者もインフルエンザ発症者も出なかったことは、職員が今まで以上に自分自身の感染対策を強化し、仕事を離れても感染症対策を怠ることなく過ごし、自制し続けた結果だと評価している。

サテライトは地域密着型という特性により、今までは家族やボランティア、学生など多くの人が自由に出入りし、「社会の風」を「施設」に運んでくださっていた。今年度は感染症対策として施設内の立ち入りは禁止せざるを得ない状況から、担当職員が毎月、入居者の日ごろの様子がわかるように写真付きのお便りを作った。これはご家族にとっては大変好評を得ている。

また家族との面会の制限があることで、入居者の生活が不安定にならないよう、施設内で行える行事を増やし、施設内の環境を季節ごとと変えるなど様々な工夫を行ってきた。

このような取り組みは、コロナ禍であっても考え方や取り組み次第で、生活支援にプラスの要素が生まれることも経験できた。

次年度はこの経験を踏まえつつ、より個々の入居者の「暮らし」を重視した支援をしてゆきたい。

(2) 各部署からの報告

<介護>

サテライト特養尚古園では、令和2年度の重点目標を「地域密着型施設として、ユニットケアの推進と、それに基づく良質な個別ケアの提供。」とし、その具体的な内容（下記）とし実施してきた。

- ・ 各入居者の「暮らし」を正しく認識し、その方に寄り添い、その方の暮らしを支える介護の実践。
- ・ ユニットケアの概念を各職員が正しく理解し、その考えに基づいた個別性を重視したケアの提供
- ・ 多様な生活に対応できる介護を提供する為、職員のスキルアップができるよう研修を重ねる。

今まで以上に入居者の個別性を意識したケアを、日常的に行えるサテライトを構築すべく取り組んできたが、長年サテライトを支えてきた職員の異動や退職により、職員の連携を優先した結果、目標達成には不十分となってしまった。

令和2年度は、新型コロナウイルスの影響が大きく、行事やご家族様の面会等に制限がある中であったが、感染予防を最優先にした。

できるだけ生活に彩りがあるように、施設内の環境や行事の工夫をして行い、家族との面会も顔が見え声が聞こえる方法で行った。

行事や近隣への外出、家族との面会、学生の実習受け入れ等、感染予防を最優先にした上で行えた。

職員の研修については、外部研修こそ行えなかったが、その時々々の感染状況を考慮しつつ、内部研修を予定通りおこなう事が出来た。

地域密着型介護施設として本来あるべき姿を具現化していける様、今後も引き続き取り組んでゆきたい。

<看護>

日常において、「食事」「睡眠」「排泄」などの基本的な生活リズムを促すことで、基礎疾患の増悪や新たな疾病を招くこともなく目標を達成できた。次年度も引き続き経過を追うと共に、看取り（終末期）に関しての職員勉強会、毎月のおたより（新聞）を利用する等し、家族指導を導いていきたいと考える。

<管理栄養士>

栄養カンファレンスを通して、多職種間での情報を踏まえ、食事内容の検討を行い栄養状態の改善・

維持に努めた。11月からは高リスク者0名を達成、継続できている。

加算対象の療養食も継続し、疾病の悪化を防ぐための食事療法も実施できている。歳時記に合わせた食事や行事・イベント食の提供も、好評を得ており今後も継続していく。

委託業者様や食材業者様と、やわらか食材、イベント用の食材など、情報交換や、試食を行うことにより、より食べやすい料理提供に努めた。

<介護支援専門員>

今年度はコロナ禍が大きく影響したが、制限がある中での面会や電話連絡を通してご家族との信頼関係を構築しつつ利用者様、ご家族の意向に沿い、個別性と自立支援を重視したサービス計画の作成に努めてきた。サービス担当者会議においては感染対策を講じた上で少人数開催とし、利用者様の状態の報告や意向を汲み取る中で支援内容を話し合い、多職種で情報共有しながら多様なニーズに対しても柔軟に対応している。

居室担当制となり、細やかな個別ケアに繋がられつつあるが、個々の課題について今後もその都度話し合い迅速に対応し、専門職がチームとなってケアが展開できるように努めていく。

また、経過記録、評価表、アセスメントの整合性があり計画に反映されるように努めたい。

<生活相談員>

今年度はすべてにおいてコロナ禍が大きく影響を及ぼした。例年は家族やボランティア、学生などが多く来園され、開かれた施設、地域の施設という姿を体現できたと思うが、今年度は地域交流がすべて中止となった。家族の面会もかなり制限することになり、居室への訪問は中止せざるを得ない状況となった。

これにより利用者、家族の関係性が薄れないように月々の便りのほかにも、電話連絡などで互いの近況を知らせ合えるよう対応してきた。

また法事への外出ができない利用者には、ズームを活用して参加するなど、利用者、家族ともに大変喜んでいただけたことは、新しい生活様式の一つとしての収穫ともなった。

利用者と家族、職員と家族の関係性が薄れないようにすることに時間を割いた1年であった。

(3) 各委員会・係からの報告

<防災委員会>

職員の防災意識向上に努めるべく緊急避難行動を想定した訓練を実施し、多くの職員が積極的に訓練等に参加し防災意識向上を図れた。今後は防火の他に大規模震災の教訓を活かした総合的な防災対策の検討を視野に入れ、防災設備会社や消防機関等との連携含めた対応も取り入れていきたい。

<食事検討委員会>

利用者様からの要望や意見などを話し合い、出来る限り希望に沿った食事提供ができるよう努力した。給食業者や施設スタッフとの連携により、行事・イベント食の提供ができた。食べる楽しみの時間や自己選択できる機会のひとつとして、おやつの特選やお好み食の提供を継続する。

多職種間での情報交換により、衛生管理の徹底や、利用者様の身体、疾病状況に合わせた食事の提供を行なうことが出来た。

<介護事故防止委員会>

アクシデント・ヒヤリハットレポートが作成された際は、即座にスタッフミーティングにて分析を行ない、事故傾向、事故原因の追究から対策を講じ、各職員に事故再発の啓発を行なった。事故防止委員会を3ヶ月おきに開催し、該当月に発生した事故の再分析、事故防止対策の徹底を行った。事故防止の研修会を年度中に2回実施し、事故防止の為の教育活動を行ってきた。

こうした事故防止の啓発を行ってきた結果として、1月度には、左肩関節脱臼と腱断裂後に、左肩を骨折していたという重大アクシデントが発生している。

フロアで隣の親戚関係であるご利用者との関係性によって発生しているということもあり、専門職種間の連携や情報交換を密におこない、ご利用者の安全面での対策を構築し、対応を実施してゆくことが今後重要であると考えます。

今後も認知症状の重度化が増加していく事が予測される中、事故の発生を完全に抑止する事は困難であるとしても、重症化、重篤化をしないよう、環境整備を推進していき、職員に対する安全啓発活動・教育活動を行って行きたい。

<身体拘束廃止委員会>

ご利用者の重度化に伴い、認知症状も中重度の方が増加している。これによって危険に対しての認知不足から、転倒などの事故リスクが非常に高くなっている。

そのため安全を重視することが、行動抑制につながりやすい環境になってしまい、生活支援の基本である安全、安心できる環境を求めつつ、グレーゾーンと呼ばれる領域（身体拘束の一步手前／スピーチロック等）を各職員がきちんと認識して生活支援につなげるかがこれからも課題となる。

<感染症対策委員会>

新型コロナウイルスの流行に伴い、職員には「うがい」「手洗い」「手指消毒」「体温測定」などの個人衛生に留意してきた。また、体調不良の際は、休みがとれるよう素早く対応してきた。

本年度はインフルエンザの発症もなく、またその他の感染症発症もなく過ごされた。

職員指導においては、コロナウイルス感染者が増加傾向であったこともあり、実際に職員を集めての研修会は実施できなかったが、デモンストレーションの動画を委員で作成し、全職員に送信し各々で確認でき、手段として制限のある中で有効的な方法であったと評価している。

(4) ご家族・地域との交流

今年度は年2回開催していた環境整備は感染症対策に伴い職員だけで行い、本来の目的である家族交流が行えなかった。

昨年度はアンケートを実施しご家族からの意見を支援に反映できるように勧め、施設の食事を試食したいという要望に沿い実施できたが、今年度は感染症対策として行えない状況にあった。

運営推進会議開催月はご家族からは書面での意見をいただき、開催人数を最小限とした。会議そのものも書面開催を中心とした。

今年度は地域での行事はすべて中止されたことで交流できる場もなかった。

2、年間行事

	年 間	月 間	週 間	随 時
R2. 4月	花見外出 サライ開設記念日	お誕生日会	内藤 Dr. 回診	歯科往診
5月	端午の節句 母の日（食事イベント） ＊目前で天ぷらを揚げて 召し上がっていただく	お好みメニュー	余暇の日 （日曜日）	防災訓練
6月	父の日	美容院の日	居室内整備	サービス担当者会議
7月	七夕・土用の丑の日	買い物の日		レクリエーション
8月	サテデイ合同納涼会			
9月	十五夜・敬老会			

10月	十三夜・紅葉狩り	甲府市介護相談員 訪問	外出・散歩 地域行事への参加
11月	お楽しみランチ *目前でお寿司を握って 召し上がっていただく		
12月	クリスマス会		
R3. 1月	新年祝賀会 七草		
2月	節分		
3月	ひな祭り		

3、職員研修状況

(1) 施設外研修

*令和2年度はコロナウイルス感染症予防により、施設外研修の参加は見合わせた。

(2) 施設内研修

期 間	内 容	発表・講師等
R 2.7	職業倫理・個人情報・プライバシー保護・接遇マナー	施設長
R 2.7	衛生管理食中毒の予防	管理栄養士／看護師
R 2.8	身体拘束防止について	身体拘束解消委員会
R 2.9	防災教育	防災担当
R 2.11	感染症対策について	感染症対策委員会
R 2.11	事故防止 I	事故防止委員会
R 2.12	認知症ケア	介護職員
R 3.1	ターミナルケアと褥瘡の予防	介護福祉士
R 3.2	事故防止 II	事故防止委員会
R 3.3	身体拘束・虐待防止について	身体拘束解消委員会

4、実習生受け入れ状況

実習内容	期間	学校名
介護現場実習 2名 (2年生)	R2. 10. 21～ R2. 11. 26	大原学園
介護現場実習 2名 (1年生)	R3. 2. 5～ R3. 3. 10	大原学園

5、利用者の状況

(1)年齢・性別

令和2年4月1日

性別 \ 年齢	60	70	75	80	85	90	95	100	計	最高年齢	最低年齢	平均年齢
	ㄱ	ㄱ	ㄱ	ㄱ	ㄱ	ㄱ	以上					
男	0	0	1	0	0	0	1	0	2	96	75	85.5
女	0	0	1	3	7	3	1	3	18	103	78	89.2
計	0	0	2	3	7	3	2	3	20			88.9

令和3年3月31日

性別 \ 年齢	60	70	75	80	85	90	95	100	計	最高年齢	最低年齢	平均年齢
	ㄱ	ㄱ	ㄱ	ㄱ	ㄱ	ㄱ	以上					
男	0	0	1	0	1	0	0	0	2	89	76	82.5
女	0	0	1	3	5	5	0	4	18	104	79	90.6
計	0	0	2	3	6	5	0	4	20			89.8

(2)在所期間 (令和3年3月31日現在)

*平均在園年数 3年5ヶ月

男性:2年3ヶ月 女性:3年6ヶ月

(3)入退所状況

*令和2年度 退所者3名 入所者3名

*令和2年3月31日現在 入所者数 20名

病院で死亡	2	長期入院見込	0
施設で死亡(看取り介護)	1	ご家族の希望	0
家庭で死亡	0	本体への移動	0

(4)入所前居所

令和2年度入所者合計3名

在宅	0	グループホーム	0
(短期入所生活介護専門施設)	1	老人保健施設	0
(小規模多機能型施設)	0	養護老人ホーム	0
サービス付き高齢者住宅	1	病院(リハビリ系含む)	1

(5) 入退院状況

No	性別	要介護度	入院先	病名	備考
1	男	4	市立甲府病院	気管支炎・肺炎	入院中に誤嚥性肺炎で死亡
2	女	4	市立甲府病院	肺炎	施設に帰園
3	女	4	甲府共立病院	尿路感染	施設に帰園
4	女	3	甲府共立病院	不明な痛み	施設に帰園(観察のみ1泊入院)
5	女	5	甲府共立病院	尿路感染	施設に帰園
6	女	3	市立甲府病院	蜂窩織炎	施設に帰園
7	女	3	順聖クリニック	ターミナル期	療養型移行(2週間後に死亡)

(6) 介護度別人数の変化

介護度	R2.4.1現在	R3.3.31
要介護1	1	0
要介護2	1	0
要介護3	9	9
要介護4	6	7
要介護5	3	4
合計	20	20
平均介護度	3.4	3.7

(7) 栄養ケア・マネジメントによる栄養リスク判定

月	人数	リスク判定別人数		
		低リスク	中リスク	高リスク
4月	20	6	11	3
5月	20	6	11	2
6月	19	7	11	2
7月	20	5	12	3
8月	20	6	9	5
9月	20	6	10	4
10月	19	5	13	1
11月	20	7	13	0
12月	20	8	12	0
3年1月	20	8	12	0
2月	20	8	12	0
3月	20	8	12	0
平均	19.8	6.6	11.5	1.7

6、運営推進会議の開催

指定地域密着型サービス事業者として定期的に「サテライト特養尚古園運営推進会議」を開催。尚、今年度はコロナ禍により書面開催を中心とした。

運営推進委員：ご利用者代表、ご家族代表、地域包括支援センター、民生委員、地域代表、学識経験者
施設参加：施設長、ユニットリーダー、生活相談員、ケアマネージャー、管理栄養士 等

第一回 運営推進会議（令和2年5月25日）書面開催

1. 今年度の推進委員の紹介
2. ご利用者の状況（概況）
3. 感染症対策報告～コロナウイルス感染症対策の状況等
4. 活動状況報告
5. 苦情要望窓口より

第二回 運営推進会議（令和2年7月27日 14:00～）

1. ご利用者の状況
2. 感染症対策報告～コロナウイルス感染症対策の状況等、家族面会制限について
3. 活動状況報告
4. 苦情要望窓口より
5. その他～家族面会等の制限に関する対応等

第三回 運営推進会議（令和2年9月28日 14:00～）

1. ご利用者の状況
2. 感染症対策報告
3. 活動状況報告～デイ合同夏祭りの様子
4. 苦情要望窓口より～第三者委員会開催報告

第四回 運営推進会議（令和2年11月30日 14:00～）

1. ご利用者の状況
2. 感染症対策報告～コロナウイルス感染症対策の状況等
3. 活動状況報告
4. 苦情要望窓口より

第五回 運営推進会議（令和3年1月25日）書面開催

1. ご利用者の状況
2. 感染症対策報告～コロナウイルス感染症対策の状況等
3. 活動状況報告
4. 苦情要望窓口より

第六回 運営推進会議（令和3年3月29日）書面開催

1. ご利用者の状況
2. 感染症対策報告～コロナウイルス感染症対策の状況等
3. 活動状況報告
4. 苦情要望窓口より

尚古園デイサービスセンター



1、利用者生活支援状況（報告）

（1）総括

令和2年度は運営稼働率の向上と、よりご利用者一人一人に合った支援の実施、余裕を持った入浴サービスの提供、季節を感じていただく外出サービスの提供、関係機関及び事業所との連携を強化することにより、サービスの質の向上を図ることを目標として1年間活動を行ってきた。

年間の稼働率はおおよそ68.89%であり、目標値の80%は達成する事はできなかった。目標未到達の主な要因は昨年と同様に利用者のADL低下の為の施設入所や入院、体調不良による利用中止、新型コロナウイルス感染症の影響による自粛や利用離れなど新規利用者の低下であった。

平均介護度においては、年々上昇傾向であり、このことから地域や在宅で認知症を含めた要介護者の重度化とコロナ禍の影響による生活能力の低下が通所介護事業所の機能性に対峙した状況であったと考える。

適切な通所介護サービスを提供し続けるために、ベースとなる送迎、入浴、食事サービスの強化に努め、併せて日々感染症対策の検討・実施・評価を繰り返し、レクリエーションや運動要素等、社会的交流場面においても、感染対策を前提としつつベーシックな対応が安心・安全に行えるよう留意した。

また介護サービスの向上と経営の安定化等の方策を協議するため「尚古園デイ活性化検討会議」が設置された。この会議を基に①広報活動②職員の意識改革③尚古園居宅との連携④その他の内容の提案と目指すべき方向性が抽出されたことで、取り組みを開始した内容と合わせ具体的な事業の推進としていく。

（2）利用者生活支援

① 入浴サービス（一般浴・リフト浴・機械浴・展望浴）

ご利用者一人一人の健康状態を把握しつつ、身体状態に合わせた介助の方法や設備を活かした入浴サービスを提供している。入浴中は十分な見守りのもと、安全に安心して入浴をしていただけるよう観察と配慮をし、全身状態の把握や清潔の保持に加え、動作一つ一つに生活リハの観点から入浴に係る行為やマッサージ等、ご利用者の意欲を引き出しながら、残存する能力に沿って入浴サービスを実施した。また一般浴だけではなく、ご利用者の心身の状態に合わせた入浴設備（リフト浴・機械浴）を使用し、ご利用者の心身状態の維持と在宅介護の負担軽減が図れるケースが増加した。入浴におけるコンセプトとして、「ゆっくり温まり、くつろげるようなお風呂」を目指し、ラジウム温水や入浴剤を入れた変わり風呂の提供の継続、また浴室の壁面にはご利用者の創作品を3か月毎に装飾し、ご利用者意欲への働きかけと雰囲気作りに努めた。

② 給食サービス

管理栄養士の献立のもとバラエティーに富んだメニューと、高齢者向けの味付けが大変好評である。食器は陶器を使用し、嗜好や摂取量、療養食の提供、ご利用者の状態に合わせた食事提供に対応し、ご飯と汁物はデイのキッチンで盛り付けのパフォーマンスを行なっている。また食事の見守りを図り、食事介助が必要なご利用者への適切な援助と共に、食の楽しみを感じられるようにしている。食前の嚥下体操の実施は目的と効果を説明しつつ、アレンジを重ねながら自宅での活動に繋がるようご利用者へ働きかけを継続している。また映像機器を使用した体操や運動の提供から、活動の拡大が図れた。

また、年間の手作りおやつは担当スタッフが毎回工夫を凝らしながら季節を感じられる内容や、楽しみを感じられる作業を工夫し、「自分達で作る」楽しさを提供することができた。クオリティの追

究をしながら懐かしさや美味しさを感じられるよう工夫した。

③ 介護サービス

在宅生活が継続できることをベースの考えに置き、ご利用者の心身の状態・生活の状況に応じたニーズを適切に把握するように努め、一人一人に合った介護サービスを提供した。

在宅生活をするための必要な動作やニーズに合わせたデイでの過ごし方を考えながら、QOL向上を意識したケアの実践や、併せた目線として安全を前提とした関わりの中で介護サービスを提供できた。ご利用者一人一人の状態や性質、ニーズの理解から、できること、できていること、できるであろうことの観察や対応を図り、在宅生活が継続できるようアプローチを展開した。

④ 日常動作訓練

送迎から始まり、デイサービスセンター内でのご利用者の動作全てを生活上のリハビリと捉え、移動・食事・入浴・排泄等の行為の際もご利用者の残存能力を引き出すようアプローチし、自立の重要性、生活意欲の向上に繋がるようサポートした。

個々のニーズに合わせたリハビリの内容としては、集団体操をベースにし、車椅子から椅子への移乗や、ベッド上の体操や姿勢保持、平行棒を使用した歩行訓練等を行い、多目的室を活用しながら、座り立ち運動やマッサージ器、滑車機器、エアロバイクを使用した個別場面を設け、運動機能向上へのサポートを行った。

⑤ 健康状態の確認

看護職員を中心にバイタルチェック（毎回）・体重測定（月1回）、ご利用者への問診を行い、普段と状態に変化がある場合や急変の際に、迅速にご家族や担当のケアマネジャーとの情報共有や受診等のアドバイスを得る中で、タイムリーな連携を図ることができた。

また生活上の指導や・助言を行うことで、通常健康状態を把握したり、内服薬の情報を得たりすることで、ご利用者からの相談にも応じられ、必要に応じ主治医等からの助言を得るなど仲介的なサポートを行った。

⑥ 送迎サービス

ご利用者の身体状態や特性に合わせた車両選定と、送迎ルート、自宅周辺の土地環境を把握しながら、常に安全運転を心がけ、快適に乗車し、安心して通所していただくよう送迎を実施した。

車両の点検・整備は月1回に行い、車内・車外の清潔に努め、寒暖差への配慮、また特に感染症対策の一環として車内の消毒清拭は通年対応としている。送迎はご利用者・ご家族との直接コミュニケーションを図れる場面でもあり、情報の共有や生活のアドバイス等を行うことで共通理解を持つことができた。

⑦ レクリエーション・余暇活動

季節の移り変わりを感じられるよう工夫しながら、ADLの向上を目指し、ご利用者間の交流による社会性の向上、生活の活性化を目指し創意工夫した。

年間行事に実施している外出を中心に季節の移り変わりや土地環境の変化などを感じられるような企画をし、個々のニーズに合わせた実施を行う事ができた。

また、余暇活動の一環では、浴室の壁画作成やフロア内に飾る装飾物などをご利用者と共同で行い仕上げることで、個々の役割や作業的要素を含め、心身や認知機能の活性化を活発に行うことができた。

⑧ 生活相談・援助

常に明るく何でも話せる雰囲気作りを心がけ、ご利用者間の問題にも早期に対応し、話し合うこと、職員がじっくり話を聞く事で問題解決に望んでいく事が定着した。

ご利用者の生活状況に応じ、家庭訪問を行い話し合うことや、電話をすることで安心感を持っていただけるよう対応することで継続的な利用や都合に合わせた追加利用などの相談を受け、より信頼を築ける関係を作る取り組みができた。特にご家庭との連携等については、エンパワメントやストレッチングの理解を兼ねつつ、家庭介護者をケアできる関係性の役割を実践できた。

他事業所の介護支援専門員、関係専門職との情報の共有を深めるために、毎月のご利用者の状況や課題点、介護計画の変更の提案などを文書にまとめ、コロナ禍において直接の訪問機会は減らざるを得ない状況が続いたが、毎月発行している広報誌や SNS を通じた情報発信を行いながら、関係保持に努めた。

新型コロナウイルス感染症による影響としては事業所の感染防止対策を口頭や書面で都度発信し、適切な説明を繰り返し行ったことで情報の共有が図れた。

⑨ その他日常生活全般にわたる介護

ご利用者の生活状況から、ご家族やケアマネジャーより依頼のあった場合は、送迎時に戸締り、電気、火の元の確認などを行い、可能な日常生活のサポートを実施することにより、ご利用者及びご家族との信頼関係の向上さらには在宅生活の維持につながり、充実した内容の介護を実践することができた。また、認知症等何らかの事情においてご家族と協働する場面についても、継続した対応を図ることで、安定したご利用に繋がっているケースもあった。全てのサービスの提供にあたり【柔軟な対応と判断】を心がけた。

2、会議開催状況

会議名	開催時期	内容
スタッフ会議	毎月 1 回	・ 行事確認 ・ 利用者の変動、利用状況
ケースアセスメント会議	毎月 1 回	・ 利用者情報及びケア内容の共有 ・ アセスメントシート作成
サービス担当者会議	随 時	・ 数回実施（状態変化等）
業務改善会議	毎月 1 回	・ 業務改善事項の検討 ・ サービス向上の検討
食事検討委員会	年 4 回	・ 嗜好状況の報告、検討 ・ 行事食等の検討

3、職員研修状況

(1) 事業所外研修

期間	主催	参加	研修名	場所
R2. 5. 12	山梨県老人福祉施設協議会	1	理事会	山梨県福祉プラザ
R2. 7. 31	山梨県老人福祉施設協議会	1	理事会	山梨県福祉プラザ
R2. 9. 11	山梨県老人福祉施設協議会	1	甲府ブロック会議	WEB 開催
R2. 11. 19	山梨県公安委員会	1	安全運転管理者等講習会	山梨県立文学館

(2) 事業所内研修 (法人研修含む)

実施日	研修内容	担当・講師等
R2. 5. 19	【個人情報取り扱い・プライバシー保護・衛生管理・職業倫理・接遇・マナー】 【権利擁護研修】	所長心得・サブリーダー
R2. 6. 23	感染症・食中毒防止	看護職員・サブリーダー
R2. 7. 21	アセスメント研修	所長心得
R2. 8. 25	認知症ケア研修	サブリーダー・介護職員
R2. 9. 15	防災教育・防災訓練 同日開催	介護職員
R2. 12. 23・24	デイサービスにおける感染症・食中毒蔓延防止 (感染症事例デモンストレーション) 両日開催	看護職員
R2. 12. 29	事故防止・事故発生時の対応研修	サブリーダー・介護職員
R3. 1. 19	介護福祉士の専門性向上研修	所長心得
R3. 2. 16	褥瘡防止に関する知識・ターミナルケアの考え方研修	介護職員
R2. 3. 16	身体拘束、虐待防止研修	所長心得・サブリーダー

4、ボランティア受け入れ状況

*コロナウイルス感染症対策として今年度の受け入れは見合わせた。

5、利用者の状況

(1) 行事状況

実施月	行事	実施日	手作りおやつ	実施日
R2年 4月	花見会 (花見入浴)	4月3日 3月30日～4月9日	ポテト パンケーキ	4月20日 4月21日
5月	母の日	5月9日 5月11日～16日 展望浴	胡麻餡の柏餅	5月20日 5月21日
6月	父の日	6月22日 6月18日・19日 展望浴	ロールケーキ	6月19日 6月20日
7月	七夕	6月下旬～7月7日	甘納豆入りフルーツ缶 の茶巾絞り	7月20日 7月21日
8月	スイカ割り 夏祭り	8月8日 8月24日	トマトゼリー	8月19日 8月20日
9月	敬老会	9月21日	タルトタタン	9月18日 9月19日
10月	運動会	10月10日	かぼちゃあんドーナツ	10月19日 10月20日
11月	紅葉行事 (外出)	11月16日～20日	ゆずスイートポテト	11月20日 11月21日
12月	クリスマス会	12月25日	フルーツの ドームケーキ	12月20日 12月21日

R3年 1月	新年祝賀会	1月4日～5日	じゃがいも餅の みたらし	1月20日 1月21日
2月	節分	2月2日	けしの実団子	2月19日 2月20日
3月	桃の節句	3月3日	おからドーナツ	3月22日 3月23日

※レクリエーション（みそ汁作り、俳句作り、カラオケ等）～毎日日替わりで実施。

※外出行事に関しては、春・秋以外に希望を踏まえた個別対応（少人数）を随時実施。

※誕生日会～当月利用日が近い日に実施。

※手作りカレンダー～毎月実施

※体重測定～月の前半に実施。

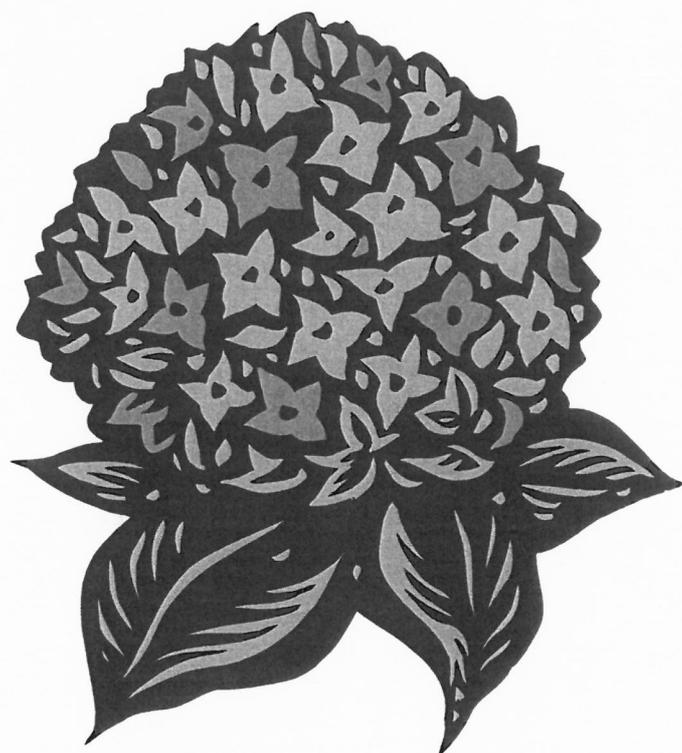
※防災訓練～年2回実施。

※展望浴～随時実施。

（2）要介護度別利用状況

年月日	要支援 1	要支援 2	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	その他	合 計	平均要 介護度
R2.4月	0	18	70	134	78	68	61	0	434	2.7
5月	0	24	70	139	81	50	80	0	444	2.7
6月	0	21	61	152	79	42	70	0	425	2.7
7月	0	25	60	162	85	43	88	0	463	2.7
8月	0	20	61	152	74	43	84	0	434	2.7
9月	0	18	59	132	77	43	85	0	414	2.8
10月	4	22	61	126	100	49	88	0	450	2.8
11月	6	25	72	110	89	50	78	0	430	2.7
12月	10	21	83	81	144	55	83	0	477	2.9
R3.1月	8	26	58	77	131	47	92	0	439	2.9
2月	12	38	57	88	133	71	79	0	478	2.8
3月	13	45	51	65	142	74	95	0	485	2.9
合計	53	303	763	1,418	1,213	635	983	0	5,368	2.77

サテライト尚古園デイサービスセンター



1、利用者生活支援状況（報告）

（1）総括

令和2年度はすべての事業運営に当たってコロナ禍が大きく影響を及ぼした1年であった。

地域密着型通所介護事業所として地域に密着した施設を目指しサービス提供内容の充実に努めるとともに、関連事業所との関係性の構築に力を入れてきていたが、コロナ禍の影響により訪問活動はほとんど実施できない状況となり、地域行事の開催が軒並み中止となったことを受け、地域交流の場はまったくなくなってしまった。

その分、施設内での楽しみが多くできるようにイベントを増やしたことは、在宅生活での制限を強いられた利用者からは大変好評であり必要な支援であったと評価している。

今年度も少人数ならではのきめ細かいケアと、一人一人にあった関わりを行い、原則、同性介護を実施できたことで、ご利用者の人権・人間性を尊重する基本理念に基づいた通所介護サービスの提供を行うことが出来た。

（2）利用者生活支援

① 入浴サービス（一船浴・機械浴）

健康状態のチェックを行い、身体状況やご本人に合った入浴方法を考え1対1で関わることを重視しながら、ゆったりした入浴時間を提供出来た。特に同性介護を実施することで、ご利用者のプライバシーへの配慮が徹底出来た。又、着脱や洗身等ご利用者が出来る事は、ご自身で行うよう働きかけを行ってきた。身体状況に応じて、特養に併設されている機械浴を利用することで、ご利用者が安全にゆっくりと入浴することが出来た。

② 給食サービス

管理栄養士の作成した献立で、季節感や目で楽しめるように工夫されたメニューを提供している。行事食が多く、食事もレクリエーションや活動に繋がるケアのひとつとして活用することが出来るように、自立支援を念頭にサポートしてきた。結果として、9割のご利用者が常食提供のまま状態が低下していない。食事制限のある利用者に対する献立にも対応することが出来ており、栄養管理面でのサポートも充実して取り組むことが出来た。

③ 介護サービス

在宅生活が維持出来る事を念頭に、ご利用者の身体的、精神的状況に応じた介護サービスを提供した。ご利用者が在宅で生活する為に欠かせない事は、デイでも継続出来るようなアプローチを展開した。過度の介護とならないように状態を的確に把握することに努め、ご家族やケアマネ、協力事業者へも情報提供した。

④ 健康状態の確認

健康状態の確認を毎回実施した。状態に変化がみられる場合はご家族へ連絡・報告、受診等の対応をお願いしている。又、ご利用者、ご家族、ケアマネからの相談により、個人持ちの薬の管理や手当てのサポートを出来る範囲で実施した。

⑤ 送迎サービス

安全を第一に、個々の状態に合わせて送迎時間等を調整し、独居の方や送迎時にご家族が不在な場合など、個々に対応が違うので生活状況に合わせ、柔軟性のあるサービスで対応してきた。ご利用者の身体能力を把握し、状態に合った送迎方法を確実にする事で、事故の無い安全な送迎を行う事が出来た。また、送迎時のご家族との情報交換を積極的にすすめて、ご利用者の生活支援に繋げている。

⑥ レクリエーション・アクティビティ活動

ご利用者が積極的に参加でき楽しみに繋がるとともに、心身機能の活性化を図れるように活動性が高まる活動を実施した。今年は新型コロナウイルス感染症の影響から地域のイベントの殆どが中止となってしまう地域社会との交流は図れなかったが、その分デイ内でのイベントや食レクの企画を多く取り入れることで楽しんで頂けるものとなった。今年度は予防介護の観点から、特に運動機能の維持、向上を目標とした運動や体操を積極的に実施し活発な活動を展開してきた。ご利用者の個別の嗜好やニーズに添うような支援も実施した。

⑦ 生活相談・援助

ご利用者、ご家族から常に話を聞きやすい、話しやすいと感じられるような態勢で生活相談・援助を行っている。またスタッフ全員で情報共有し、ご利用者が自宅での生活が継続出来、ご家族の不安を軽減出来るよう努めた。ご家族との連携も密にして、ケアする人をケアする役割も果たしつつある。今年は新型コロナウイルス感染症による影響も大きく、ご利用者、ご家族からの不安に対しても状況を判断し、都度お知らせを配布するなど対応することで感染症に対しての理解も得られ情報も共有できた。

⑧ 機能訓練

機能訓練指導員の配置により、ご利用者一人一人の身体状態に応じたリハビリの実施とリハビリ効果のあるレクリエーションを多く取り入れ、身体機能の低下を防止する援助を行なうことが出来た。

⑨ その他日常生活全般にわたる介護

ご利用者の生活状況から、送迎時に戸締り、電気、火の元の確認、服薬確認、移乗の介助などを行い、可能な日常生活のサポートを実施することにより、ご利用者及びご家族との信頼関係の向上に繋がり、充実した内容の介護を実践する事が出来た。

2、会議開催状況

会議名	開催時期	内容
スタッフ会議	毎月1回	・ご利用者の変動、利用状況 ・業務改善等 ・ADL状況の変動、対策等
サービス担当者会議	適宜	・ご利用者のアセスメントとケアプラン作成、及び作成したプランの評価・検討・確認のため、家族・本人・関係職員で協議した。
食事検討委員会	毎月1回	・ご利用者の希望に沿った、より質の高い食の提供を目的とし、献立内容やイベント食等の検討を行い、提供した。

3、職員研修状況

(1) 事業所内研修（法人研修含む）

期間	内容	発表・講師等
R2.6	職業倫理・個人情報・プライバシー保護・ 身体拘束・虐待防止	施設長
R2.7	衛生管理・食中毒予防	管理栄養士/看護師
R2.8	身体拘束防止	身体拘束解消委員会
R2.9	防災教育	防火担当
R2.11	感染症・ノロウイルス対策について	感染症対策委員会
R2.11	介護事故防止 I	事故防止委員会
R2.12	認知症の対応について	介護職員
R3.1	褥瘡予防について・ターミナルケアの考え方	介護職員
R3.2	介護事故防止 II	事故防止委員会
R3.3	身体拘束・虐待防止	身体拘束解消委員会

4、ボランティア受け入れ状況

*コロナウイルス感染症対策として今年度の受け入れは見合わせた。

5、利用者の状況

(1) 行事状況一覧

実施日	内 容	場 所
4月～5月	お花見等、外出レク	近隣の公園（散歩等）
6月～7月	七夕	デイホール
8月	サテライト特養合同納涼祭	サテライト尚古園
9月	敬老会	デイホール
10月	ハロウィン	デイホール
11月	お楽しみ食(握り寿司パフォーマンス)	デイホール
12月	クリスマス会	デイホール
R2年1月	新年祝賀会	デイホール
2月～3月	節分・ひな祭り	デイホール

*上記は主だった行事のみ記載。街中散歩、屋外レクは随時実施

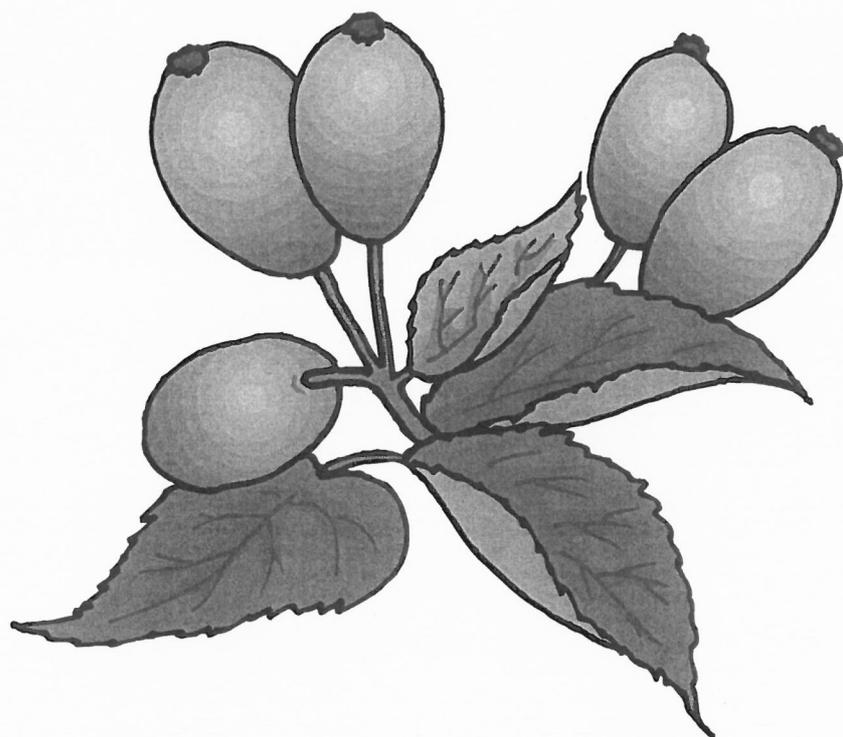
*誕生日会～毎月1日（誕生日食メニュー） おやつ作り～毎月1回

*防災訓練～年2回

(2) 要介護度別利用状況

	要支援 1	要支援 2	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	合 計	平均要 介護度
R2.4月	0	0	0	39	101	56	10	206	3.18
5月	0	0	0	42	102	47	11	202	3.13
6月	0	0	9	42	102	52	15	220	3.10
7月	4	0	8	51	82	30	43	218	3.23
8月	5	0	9	44	85	38	39	220	3.25
9月	5	0	9	43	84	33	38	212	3.23
10月	4	0	9	44	90	26	40	213	3.21
11月	5	0	9	43	72	15	36	180	3.15
12月	5	0	9	44	69	15	40	182	3.19
R3.1月	4	0	8	56	61	14	36	179	3.08
2月	4	0	8	56	63	14	36	181	3.08
3月	5	0	9	68	68	16	40	206	3.05
合計	41	0	87	572	979	356	384	2419	3.16

グループホーム山径



1、利用者生活支援状況（報告）

- * その人らしさを大切にし、健康を保ち、安心して安全な環境を提供する。

今までにない、感染症の脅威にさらされた一年であった。その中において入居者様方の健康を守らなければという責務を職員各自が意識し感染予防に努めてきた一年でもあった。その甲斐あって感染症の発症はなく、その点においては健康を保つ事ができたと思う。また入居者の中には、百歳を超えられても、なおもお元気な方もおり、周囲の方々にも良い刺激となり、おおむね皆様元気に過ごす事が出来たといえる。しかし、年末、年度末に転倒による骨折や、肺炎のために2名の方が入院してしまった。認知症によって痛みの訴えも曖昧なこともあるが、高齢者にとっては早急な対応が重要であり、常に小さな変化にも気づきが重要であることを改めて再確認した。引き続き日常生活の中で、常に危険を予測しての行動をとる事を各自で意識し、アクシデント防止や異常の早期発見に努め、一人ひとりが安心して過ごせるよう、支援していきたい。

- * 通所の方々とは交流することにより、日々の生活が豊かになるような関係を作る。

コロナ禍で通所の方々と同じ空間で過ごす事は、感染のリスクも高まるために、この一年は感染対応に明け暮れた一年であった。その中でも、馴染の方の来所を楽しみにされているために、ダイニングでのテーブルや食事席に配慮したりし、良い関係性の継続ができるよう工夫してきた。ボランティアの来園もなく、地域との交流もなかった。そのため施設内に季節ごとの行事やレクリエーション活動を通じて、例年にない機能重視の大運動会や、皆様の手によって大きなオブジェの作成等、日々の日常の中での活性化に繋げる事が出来た。

- * 地域の一人である事を意識し、交流の機会を利用していく。

以前から入居者の高齢化や重度化により、交流の場へ参加できる人が限られている中で、コロナ感染症が追い打ちをかけ、交流があった保育園の運動への参加や、定期的に来所して下さるボランティアの方との交流もできなかった一年であった。今後もまだ、感染対策や重度化や個々の機能低下などから、外出の機会が難しくなっているなか、今後も施設の中での社会性の発掘やコミュニケーション環境を模索していきたい。

〈 総括 〉

令和2年度は、退所する方はいないも、入院者が出たことは残念な事であった。引き続き日々の小さな変化に気づき、観察する視点や、入居者に合わせた対応、状態把握に努め、早期発見・早期対応を行い、医療と連携し、安心して安全な暮らしに結びつけていきたい。

毎年恒例となっているバーベキュー会や忘年会へのご家族の参加もなく、職員と過ごす時間となってしまう、面会も制限され、窮屈な一年となってしまった。認知症の進行も気がかりであるご家族様に向けて、毎月の報告に日常のスナップ写真や行事の参加の様子等を報告してきた。中でも特に初詣も行かれないためホールに山径神社を設け、絵馬の奉納やお参り後に、お一人お一人今年の抱負を語っていただいた報告はご家族様に好評であった。令和3年に向けても、認知症支援のエキスパートとしての自覚と専門知識と技術をもって、先人であるご利用者の尊厳を保ち、安心して過ごしていただける支援を提供していきたい。

2、会議開催状況

会議名	開催時期	備 考
リーダー会議	毎月1回	利用状況、業務改善等
スタッフ・ケース会議	毎月1回	利用状況、業務改善等
ご利用者・スタッフの話し合い	随 時	数回実施（状態変化等）

3、年間行事

年 月 日	内 容	場 所	利用者数	ご家族数
R2. 4/21	お弁当ランチ	山径ホール	9名	0
4/23、5/7	おやつレク	山径ホール	9名	0
5/10	母の日	山径ホール	9名	0
5/14	おやつレク	山径ホール	9名	0
5/14	ドライブ外出	緑が丘公園	5名	0
5/21	野菜の苗植え	ベランダ	4名	0
6/21	父の日	山径ホール	9名	0
7/20	夏祭り	山径ホール	9名	0
8/20	バーベキュー会と花火	ホール、玄関先	9名	0
9/14	おやつレク	山径ホール	9名	0
9/28	敬老会（昼食）	山径ホール	9名	0
9/28	敬老祝賀会	山径ホール	9名	0
10/1	十五夜	山径ホール	9名	0
10/14	ドライブ	緑ヶ丘総合グラウンド	5名	0
10/22	運動会	山径ホール	9名	0
10/28	秋の味覚フェア、ランチレク	山径ホール	9名	0
10/29	十三夜	山径ホール	9名	0
11/14	ドライブ	千代田湖	2名	0
11/19	チューリップ植え、豚汁会	ベランダ、山径ホール	8名	0
12/24	クリスマス会	山径ホール	9名	0
12/26	餅つき	山径ホール	9名	0
1/1	新年祝賀会	山径ホール	9名	0
1/25	おやつレク	山径ホール	9名	0
2/1	節分（豆まき）	山径ホール	9名	0
2/2	節分の日（ランチレク）	山径ホール	9名	0
2/14	バレンタインレク	山径ホール	9名	0
2/25	おやつレク	山径ホール	9名	0
3/3	ひな祭り	山径ホール	9名	0
3/11、3/25	おやつレク	山径ホール	9名	0
3/29	花見会	ホール、玄関先	9名	0

4、職員研修状況

(1) 施設外研修：デイサービス山径共通

年月日	主催	研修名	参加者	場所
R2. 10. 15	甲府市介護サービス 事業所連絡協議会	新型コロナウイルス感染症について ～感染しない、させないための方法を学ぶ	1	甲府市南公民館

(2) 施設内研修（法人研修含む）：デイサービス山径共通

年月日	内容	発表・講師等
R2. 5. 19	個人情報取り扱い・プライバシー保護・衛生管理・職業倫理について 【権利擁護・・・身体拘束／虐待防止も含む】	尚古園デイリーダー 一、介護職員
R2. 6. 19	感染症・食中毒蔓延防止について	法人感染対策委員会
R2. 7. 16	記録の書き方について	GH介護職員
R2. 8. 24	接遇について	GH山径計画作成担当
R2. 9. 17	防災教育	防火管理者
R2. 10. 28/11. 11	感染症・ノロウイルス等のデモンストレーション	感染対策委員会
R2. 11. 26	身体拘束ついて・虐待防止について	GH介護職員
R2. 12. 29	事故防止・事故発生時における取組	尚古園デイ介護職員
R3. 1. 21	認知症高齢者のケアについて	GH介護職員
R3. 2. 18	ターミナルケア/褥瘡予防について	GH介護職員

5、利用者の状況

(1) 年齢

年齢	70～79 歳	80～89 歳	90～99 歳	100～109 歳
人数	0	3	5	1

最高年齢・・・101 歳

最低年齢・・・85 歳

平均年齢・・・92.9 歳

(2) 要介護度 平均介護度・・・3.67

要介護度	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5
人数	0	2	2	2	3

(3) 要介護度の変化状況

介護度の変化状況	人数
3 → 5	1
4 → 5	1

(4) 入退所の状況

	男	女	計
入所者数	0	0	0
退居者数	0	0	0
入所前状況	0 名		
退所理由	0 名		

(5) 外泊状況

令和2年度は外泊者0名

(6) 入院状況

令和2年度は入院者2名

(7) 面会状況

年月	面会件数	年月	面会件数	年月	面会件数
R2.4月	1	8月	6	12月	8
5月	4	9月	8	R3.1月	4
6月	5	10月	9	2月	1
7月	7	11月	7	3月	2

6、運営推進会議の開催

第一回 運営推進会議 令和2年6月25日(木) 書面での開催

参加(ご意見を頂いた方) 入居者家族1名・和田町自治会代表1名

北東包括支援センター1名・有識者1名・所長・介護職員

議題 ①入居者の生活状況とADL・サービスの状況 ②通所の状況
③感染症対策について ④今年度の事業計画 ⑤その他

第二回 運営推進会議 令和2年7月30日(木) 14:00~

参加 入居者家族1名・北東包括支援センター1名

有識者1名・和田町自治会代表1名・所長・介護職員

議題 ①入居者の生活状況とADL・サービスの状況 ②通所の状況
③感染対策の報告 ④その他

第三回 運営推進会議 令和2年9月24日(木) 14:00~

参加 入居者家族1名・和田町自治会代表1名・有識者1名

北東包括支援センター1名・所長・介護職員

議題 ①入居者の生活状況とADL・サービスの状況 ②通所の状況
③接遇研修実施の報告 ④その他

第四回 運営推進会議 令和2年11月26日(木) 14:00~

参加 入居者家族1名・有識者1名・北東包括支援センター1名

和田町自治会代表1名・所長・介護職員

議題 ①入居者の生活状況とADL・サービスの状況 ②通所の状況
③身体拘束等の適正化について ④新型コロナウイルス発生時の対応研修の報告 ⑤その他

第五回 運営推進会議 令和3年1月21日(木) 書面での開催

参加(ご意見を頂いた方) 入居者家族1名・有識者1名・和田町自治会代表1名

北東包括支援センター1名・有識者1名・所長・介護職員

議題 ①入居者の生活状況とADL・サービスの状況 ②通所の状況
③コロナかの施設における余暇活動 ④外部評価について ⑤その他

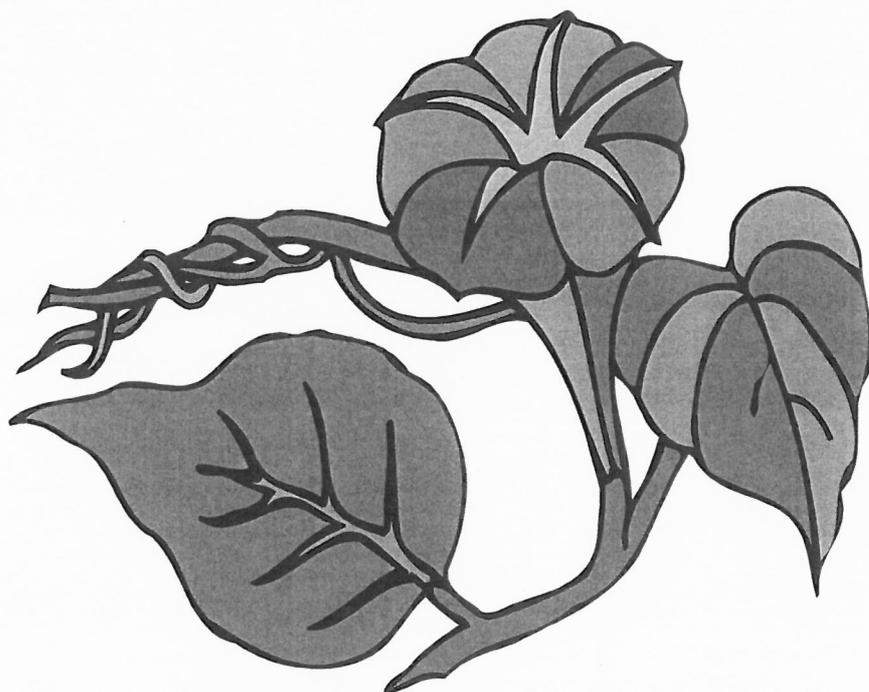
第六回 運営推進会議 令和2年11月26日(木) 14:00~

参加 入居者家族1名・有識者1名・北東包括支援センター1名

和田町自治会代表1名・所長・介護職員

議題 ①入居者の生活状況とADL・サービスの状況 ②通所の状況
③令和2年度のまとめ ④第三者委員会の報告 ⑤その他

デイサービスセンター山径



1、利用者生活支援状況（報告）

(1) 総括

令和2年度は、共用型デイの特徴である、家庭的な雰囲気の中で、ご利用者それぞれのできる能力を生かし、一人ひとりに寄り添い個別に対応し、入居されている方達と交流を提供する事が、コロナ禍においては、共有スペースで過ごすことにおいて、感染リスクを高める事となり、難しい状況となってしまった。そのような一年ではあったが、オゾン空調機やパーテーションの設置等環境整備に加え、常に感染予防対策の徹底によりご利用の継続支援が行えた。鎮静化の兆しの無いコロナ禍で、コロナの脅威を感じている者であるがため、予防対策の重要性も理解できるが、ご利用者の中には、予防のための手洗いや嗽、時には隔離対応に制限されることに対して、ストレスを感じる様子も見られていた。そのため職員は、施設内で実施できる余暇の時間を意識し模索工夫をして、楽しめるプログラムを提供し加えて、少しの時間でも、屋外に出て外気を感じる事も、気持ちの切り替えになり、天候によって、外気浴やドライブ等取り入れた。心身の機能の維持に繋がるよう、認知症に特化したデイならではの進行予防の対策として、毎月脳トレ等を用いてテスト実施し、ご家族には、個別の通信を作成し、施設の様子を写真で報告し、また日々の関りの中で体調変化が見られる時には、ご家族、ケアマネに報告し情報を共有、早期対応に努めた。今後も、ご利用者一人ひとりの持てる力を見極め、生活が活性化できるようサポートしていきたい。

(2) 利用者生活支援

① 入浴サービス（一船浴）

健康状態をチェックし、ご利用者の状態を把握。ご利用者の残存機能を活かしつつ、ゆっくりと個々のペースでの入浴が実施できた。皮膚の状態等、こまかな状態変化にも気付くことができ、ご家族と情報を共有し、早期に対応実施する事が出来た。

② 給食サービス

バラエティーに富んだ献立作り、適温適時の昼食が提供できた。特別食として、誕生日にはその方の好きな物を提供し喜んで頂けた。ランチバイキングも定期的の実施し、外食を取り入れられないため、お寿司を購入したりし、普段とは違った食事を楽しんで頂き、また、季節を感じて頂けるような旬の物を使用した献立も好評であった。

③ 介護サービス

グループホームの特性を生かして、「通所介護計画書」を作成。家庭での延長と位置付け、介護計画書に添って日常生活動作の中でサービスを提供した。ご家族のニーズに合わせ、利用時の IADL や精神的状況のお伝えすることで、受診の際の日常生活の様子報告にも対応ができた。

④ 健康状態の確認

バイタルチェック、体重測定（月1回）、随時身体チェックを実施。普段と状態に変化がある場合はご家族へ連絡、報告し受診等の対応をお願いしている。またご利用者、ご家族、ケアマネからの相談により、個人持ちの薬の管理や手当てのサポート、またできる範囲でアドバイス等も実施した。

⑤ 送迎サービス

ご利用者が安心して乗車できるよう、定期的に車の清掃や点検を行い、安全運転に努め事故を起こす事なく実施できた。コロナ禍のため、車内の空調にも配慮した。送迎の時間を利用して、ご家族との情報交換に努め信頼関係等を深めることができた。

⑥ レクリエーション・余暇活動

ドライブ、外気浴など、季節の移り変わりを感じることができるよう企画に工夫した。また、昼食

の準備や食器の片づけ、洗濯物を干す、たたむ等の作業を実施し、役割を持つ意識を高め、自宅で行っている事が継続できように努めた。「脳トレ」を定期的に取り入れたり、一人一人の持てる力を見極め、具体的な計画を組み込み実施出来た。

⑦ 生活相談・援助

日頃の会話の中やケアマネからの情報提供、送迎時のご家族との会話などから、ご利用者やご家族の不安や心配ごとを読み取れるように留意し、気を配るようにした。

担当ケアマネとの情報の共有を行うことで、一体的な生活のサポートを行えるように、毎月ご利用者の状況や生活に支障があることなどを報告していることで、より充実したサポートを実施している。

⑧ その他日常生活全般にわたる介護

ご利用者の生活状況から、必要に応じて外出支援や戸締り、鍵や衣類の管理、服薬支援や洗濯等を行い、生活へのサポートも行った。

2、会議開催状況

会議名	開催時期	備考
リーダー会議	毎月1回	利用状況、業務改善等
スタッフ・ケース会議	毎月1回	利用状況、業務改善等
ご利用者・スタッフの話し合い	随時	数回実施（状態変化等）

3、ボランティア受け入れ状況（グループホーム山径共通）

個人・グループ数	年間延べ人数	内容
0人	0人	

4、利用者の状況

(1) 行事状況一覧

年月日	内容	場所	利用者数
R4.21	お弁当ランチ	山径ホール	1名
4.23	おやつレク	山径ホール	1名
5.7	おやつレク	山径ホール	1名
5.14	おやつレク	山径ホール	2名
5.14	ドライブ外出	緑が丘公園	1名
5.21	野菜の苗植え	ベランダ	2名
7.20	夏祭り	山径ホール	3名
9.14	おやつレク	山径ホール	2名
9.28	敬老会 昼食レク	山径ホール	2名
9.28	敬老祝賀会	山径ホール	2名

10. 1	十五夜	山径ホール	1名
10. 22	運動会	山径ホール	2名
10. 28	秋の味覚フェア	山径ホール	1名
10. 29	十三夜	山径ホール	1名
11. 19	チューリップ植、豚汁会	ベランダ、山径ホール	2名
12. 24	クリスマス会	山径ホール	2名
12. 26	餅つき	山径ホール	2名
R3. 1. 25	おやつレク	山径ホール	3名
2. 1	節分	山径ホール	3名
2. 25	おやつレク	山径ホール	2名
3. 11	おやつレク	山径ホール	2名
3. 25	おやつレク	山径ホール	3名
3. 29	花見会	ホール、玄関広場	3名

*誕生日会～月ごと（行事食メニュー）

*防災訓練～年2回

(2) 要介護度別利用状況

	要支援 1	要支援 2	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	合計	平均要 介護度
R2. 4月	0	0	9	2	0	9	10	30	3
5月	0	0	8	12	0	0	19	39	3.25
6月	0	0	9	18	0	0	20	47	3.25
7月	0	0	8	17	0	0	20	45	3.25
8月	0	0	9	18	0	0	20	47	3.25
9月	0	0	5	17	0	0	18	40	3.25
10月	0	0	8	17	0	0	20	45	3.25
11月	0	0	9	17	0	0	19	45	3.25
12月	0	0	7	15	0	0	16	38	3.25
R3. 1月	0	0	7	0	15	0	18	40	3.5
2月	0	0	8	0	16	0	18	42	3.5
3月	0	0	9	0	24	0	6	39	3
合計	0	0	96	133	55	9	204	497	3.25

尚古園指定居宅介護支援事業所



尚古園指定居宅介護支援事業所

実 施 内 容

1. 介護等の相談の受付・連絡・調整
2. 介護保険更新申請等の書類の代行申請
3. ご利用者の心身の状態の把握やご家族の介護状況・生活の様子の確認
4. ご利用者・ご家族・介護サービス事業者・その他関係機関との連絡・調整
5. 居宅サービス計画の作成
6. 給付管理の実施
7. 介護サービスの利用状況の確認
8. 医療サービス提供事業所や福祉・医療機関などとの協力
9. 委託された介護保険認定調査の実施
10. 地域貢献に関わる事項

1、重点目標

- ① ご利用者やご家族の介護上のニーズ(必要性や要望)に幅広く応えられるように実践力を高めていく。
ご利用者・ご家族関係者それぞれのニーズや介護の必要性など情報整理しながら支援方向の提案や検討を行い課題解決できるための実践力の向上に努めてきた。
- ② 介護保険制度や介護支援に必要な各種制度の知識・理解を深めていく。
行政や地域包括支援センターや介護支援専門員協会の主催する研修や交流会のほか地域の介護支援専門員の研修会にも事例提供等参加しながら知識の充実に努めてきた。また、各課題解決のため、障害者制度、高齢者福祉、成年後見人制度、生活保護制度など各種制度等を状況に応じて活用してきた。
- ③ 地域や行政など関連機関と協力しあい地域福祉に貢献していく。
地域からあがった介護相談等に対し各地域包括支援センターと連携しながら課題解決を図りつつ地域との関係づくりを図ってきた。今年度は地区の保健福祉祭りなどの開催は無かった。
- ④ 委託された認定調査を適確に実践していく。
依頼された認定調査を実施できた。

総括

令和2年度は、現在も続く新型コロナ渦の感染リスクで閉じこもりがちや非活動的な生活になりやすく人間関係の交流が希薄になることで心身機能や認知機能の低下の懸念されることが多かったが、我々が媒介者とならないよう感染リスクを極力回避しながら、それぞれの状況に応じた必要な介護などを適正に利用できるように対応を行ってきた。

特に平成31年4月に甲府市が中核市となり指定権限者になるに伴い保険者や各包括支援センターとの連携や協力を一層重視しながら活動してきているが、相談される内容も多岐にわたるようになってきており課題解決に向けて一層の連携や関係機関等と情報交換を図ってきた。また、その課題解決能力を高めるよう各種団体が主催する学習会や研修会にも感染留意しながら参加し関連団体との交流も積極的に行って

きた。

これから時代の変化も予測される中でご本人にとって介護を伴う生活の質の向上やご家族介護者等とのより良い関係をどのように築いていけるのか、そのニーズにどのように応えるか新たな方法も参考に取り入れながら今後も関係機関との連携を図り地域の方々のご支援を得ながら福祉や医療や保健制度なども有効に活用しつつ課題解決を進めていこうと考えている。

2、給付管理など実施状況

(項目)	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	平均
給付管理	49	46	49	47	48	49	52	56	56	52	50	50	604	50.3
委託予防	4	6	6	7	7	7	9	9	9	10	11	11	96	8.0
計	53	52	55	54	55	56	61	65	65	62	61	61	700	58.3
認定調査	42	18	32	28	40	42	40	27	58	49	47	39	462	38.5

3、職員研修等の状況

年 日	主な研修会や説明会等への出席状況
R2. 8. 19	甲府市より家族介護者アンケート記入のための説明会。 9月にアンケート実施。 甲府市市民会館 3階、大会議室
R2. 9. 4	山梨県介護支援専門員主催の研修（13時30分～と15時30分～の二部制） 新型コロナウイルス対策の研修会 山梨県医師会館
R2. 9. 8	山梨県介護支援専門員協会、生涯学習研修、 ①主任介護支援専門員の更新の準備、②主任介護支援専門員の役割と指導法など。 健康の杜センターアネシス
R2. 9. 15	北東包括支援センター：ケアマネ交流会① 高齢者虐待の早期発見の視点など。小野麻里様発表 悠遊館 2階大ホール
R2. 9. 17	北東包括支援センター：ケアマネ交流会② 高齢者虐待の早期発見の視点など。鶴川淳美様発表 悠遊館 2階大ホール
R2. 10. 21	山梨県健康長寿支援課：介護認定調査員現任研修 「令和2年度 認定調査現任研修」 山梨県立文学館講堂
R2. 11. 11	ケアマネの会 ほくとう、事例検討会（特定事業所加算取得算定対象事業）研修。 「高齢者虐待へマニュアルに沿った対応」事例発表 北東公民館

R3. 2. 19	介護支援専門員管理者研修 令和3年度介護報酬改定における改訂事項 ZOOM 参加
-----------	--

その他、実地内容や活動参加状況	
月 1 回（金曜日夕方）～	山梨県介護支援専門員協会甲府支部運営委員会
R3, 8, 28、R3/2 月	第三者委員会

令和2年度事業報告書

社会福祉法人 善隣会
理事長 廣瀬 朱實

〒400-0001 山梨県甲府市和田町 2948 番地の 6

TEL 055-253-7231 FAX 055-253-7228

<https://www.zenrinkai.or.jp>

E-mail honbu@zenrinkai.or.jp

令和3年5月発行